

平成26年度第6回SPODネットワークコア運営協議会 議事次第

日 時：平成26年11月19日（水）14：45～17：00

場 所：法文学部本館2階中会議室

議 題：

1. ネットワークコア運営協議会の構成員等について
 - ・ネットワークコア運営協議会構成員名簿（案） 【資料1】
 2. SPODフォーラム2014全体アンケート結果等について
 - ・SPODフォーラム2014全体アンケート集計結果 【資料2-1】
 - ・SPODフォーラム2014の参加者からの要望等について（案） 【資料2-2】
 3. 平成27年度SPOD事業計画について
 - ・平成27年度SPOD事業計画（案） 【資料3-1】
 - ・SPODフォーラム2015の開催について（案） 【資料3-2】
 4. 平成27年度SPOD事業経費について
 - ・平成27年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費（案） 【資料4】
 5. 平成26年度SPOD事業経費の執行について
 - ・平成26年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費の執行について 【資料5】
 6. SPOD内講師派遣について
 - ・平成27年度SPOD内講師派遣プログラム一覧（案） 【資料6-1】
 - ・平成27年度SPOD内講師派遣プログラム概要（案） 【資料6-2】
 - ・平成27年度SPOD内講師派遣について（依頼） 【資料6-3】
 - ・平成27年度SPOD内講師派遣プログラム希望調査（様式） 【資料6-4】
 - ・平成26年度SPOD内講師派遣プログラム実施状況一覧 【参考資料1】
 7. 研修プログラムガイド2015について
 - ・「研修プログラムガイド2015」の作成について（案） 【資料7-1】
 - ・平成27年度SPODに開放するプログラム（研修プログラムガイド2015掲載）一覧について 【資料7-2】
 - ・平成27年度学内向け研修プログラム一覧 【資料7-3】
 - ・「研修プログラムガイド2015」チェックリスト（記載例） 【資料7-4】
 8. 四国地区大学教職員能力開発ネットワークにおけるスタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの資格認定について
 - ・四国地区大学教職員能力開発ネットワークにおけるスタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの資格認定について 【資料8】
- ※11月19日SD専門部会承認後資料配付
9. 四国地区大学教職員能力開発ネットワークにおけるスタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの資格認定に関する申合せについて

・四国地区大学教職員能力開発ネットワークにおけるスタッフ・ディベロップメント・
コーディネーターの資格認定に関する申合せ **【資料 9】**

※ 1 1 月 1 9 日 S D 専門部会承認後資料配付

1 0 . 平成 2 6 年度研修プログラム実施状況について **【資料 1 0】**

1 1 . 第 2 回 S P O D 将来構想ワーキンググループについて **【資料 1 1】**

1 2 . 教育関係共同利用拠点の認定について **【資料 1 2】**

平成26年度 第6回ネットワークコア運営協議会出席者名簿

大学名	所 属	氏 名	担当
徳島大学	総合教育センター 教育改革推進部門 准教授	宮田 政徳	FD
	総合教育センター 教育改革推進部門 講師	吉田 博	FD
	総合教育センター 教育改革推進部門 助教	川瀬 和也	FD
	総務部人事課長	関谷 直樹	SD
	総務部人事課課長補佐	沖津 貴司	SD
香川大学	大学教育開発センター調査研究部 准教授	葛城 浩一	FD
	教育・学生支援室修学支援グループ チーフ	石井 さおり	FD
	経営管理室給与福利グループ リーダー	松永 京一	SD
高知大学	総合教育センター大学教育創造部門 准教授	立川 明	FD
	総合教育センター大学教育創造部門 講師	俣野 秀典	FD
	人事課長	中山 胤	SD
	人事課課長補佐	川崎 美保	SD
	学務課総合教育センター事務係長	武内 智之	事務
	学務課総合教育センター事務係 事務補佐員	美川 真希	事務
愛媛大学	教育・学生支援機構副機構長／教育企画室長	小林 直人	FD
	教育企画室副室長	山田 剛史	FD
	教育企画室 講師	村田 晋也	FD
	教育企画室兼総合情報メディアセンター教育デザイン室長 講師	仲道 雅輝	FD
	教育企画室 特定研究員	林 真弥	FD
	教育企画室兼広報室副室長 講師	阿部 光伸	SD
	教育企画室 特任助教	丸山 智子	SD
	人事課副課長	久保 秀二	SD
	人事課人事・人材育成チーム	古村 翔	SD
	教育学生支援部長	吉田 一恵	SD・事務
	教育企画課長	神 智彦	FD・事務
	教育企画課副課長	織田 隆司	SD・事務
	教育企画課教育企画チームリーダー	濱元 悠子	事務
	教育企画課教育企画チームサブリーダー	山内 ちあき	事務
	教育企画課教育企画チーム	戸田 裕香	事務
	教育企画課教育企画チーム	三好 歌織	事務
	教育企画課教育企画チーム	松崎 由里子	事務
	教育企画課教育企画チーム	神谷 敦子	SD・事務
	教育企画課教育企画チーム	川井 順子	SD・事務

平成26年度 ネットワークコア運営協議会構成員名簿

平成26年11月1日現在

大学名	所 属	氏 名	担当
徳島大学	総合教育センター 教育改革推進部門 教授	川野 卓二	FD
	総合教育センター 教育改革推進部門 准教授	宮田 政徳	FD
	総合教育センター 教育改革推進部門 講師	吉田 博	FD
	総合教育センター教育改革推進部門 助教	川瀬 和也	FD
	総合教育センター 教育改革推進部門 特任研究員	上岡 麻衣子	FD
	総務部人事課長	関谷 直樹	SD
	総務部人事課課長補佐	沖津 貴司	SD
	学務部教育企画室長	三好 信幸	事務
	学務部教育企画室教育企画係長	金治 志津子	事務
香川大学	大学教育開発センター調査研究部 准教授	葛城 浩一	FD
	大学教育開発センター調査研究部 准教授	佐藤 慶太	FD
	教育・学生支援室修学支援グループ チーフ	石井 さおり	FD
	経営管理室給与福利グループ リーダー	松永 京一	SD
	経営管理室給与福利グループ チーフ	川池 晃子	SD
	教育・学生支援室学務グループ リーダー	野口 豊裕	事務
	教育・学生支援室学務グループ サブリーダー	高嶋 実	事務
	教育・学生支援室学務グループ チーフ	中屋敷 美和	事務
	教育・学生支援室学務グループ チーフ	山本 英和	事務
	教育・学生支援室学務グループ グループ員	吉鷹 麻穂美	事務
高知大学	総合教育センター大学教育創造部門 教授	塩崎 俊彦	FD
	総合教育センター大学教育創造部門 准教授	立川 明	FD
	総合教育センター大学教育創造部門 講師	俣野 秀典	FD
	人事課長	中山 胤	SD
	人事課課長補佐	川崎 美保	SD
	人事課労務管理係長	有友 幸代	SD
	人事課労務管理係係員	高松 基子	SD
	学務課総合教育センター事務係長	武内 智之	事務
	学務課総合教育センター事務係 事務補佐員	美川 真希	事務
愛媛大学	教育・学生支援機構副機構長／教育企画室長	小林 直人	議長・FD
	教育企画室 准教授	山田 剛史	FD
	教育企画室兼総合情報メディアセンター教育デザイン室長 講師	仲道 雅輝	FD
	教育企画室 講師	村田 晋也	FD
	教育企画室 助教	清水 栄子	FD
	教育企画室 特定研究員	林 真弥	FD
	教育企画室兼広報室副室長 講師	阿部 光伸	SD
	教育企画室 特任助教	丸山 智子	SD
	総務部人事課長	秋谷 恵子	SD
	総務部人事課副課長	久保 秀二	SD
	総務部人事課人事・人材育成チームリーダー	大塚 陽介	SD
	総務部人事課人事・人材育成チーム	古村 翔	SD
	教育学生支援部長	吉田 一恵	SD・事務
	教育学生支援部教育企画課長	神 智彦	FD・事務
	教育学生支援部教育企画課副課長	織田 隆司	SD・事務
	教育学生支援部教育企画課教育企画チームリーダー	濱元 悠子	事務
	教育学生支援部教育企画課教育企画チームサブリーダー	山内 ちあき	事務
	教育学生支援部教育企画課能力開発室	秋山 裕佑	事務
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	戸田 裕香	事務
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	三好 歌織	事務
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	松崎 由里子	事務
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	神谷 敦子	SD・事務
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	川井 順子	SD・事務

ネットワークコア運営協議会の構成員に関する申合せ(抄)

(組織)第2 協議会は、次の(1)～(4)に掲げる構成員をもって組織する。

- (1) 議長
- (2) 各コア校のFD担当者
- (3) 各コア校のSD担当者
- (4) 各コア校の事務担当者

SPODフォーラム2014全体アンケート集計結果

当日参加者数

SPOD加盟校から:258名

SPOD加盟校以外から:178名

合計:436名

アンケート回答者数:226名(フォーラム終了後、web入力にて実施)

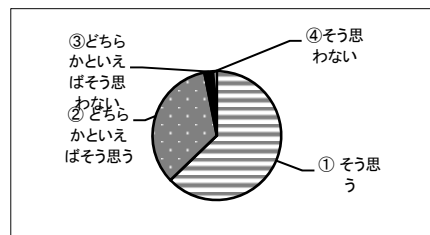
回答率:51.9%

1. SPODフォーラムでの研修成果について

【SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった】

	度数	割合
① そう思う	142	62.8%
② どちらかといえばそう思う	77	34.1%
③ どちらかといえばそう思わない	5	2.2%
④ そう思わない	2	0.9%
計	226	100.0%

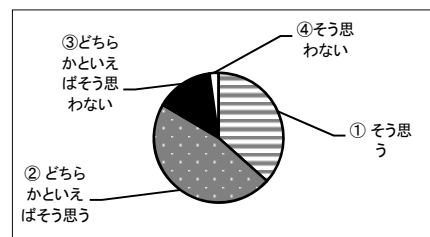
無回答 0



【所属組織を越えて人脈を広げることができた】

	度数	割合
① そう思う	82	36.6%
② どちらかといえばそう思う	105	46.9%
③ どちらかといえばそう思わない	32	14.3%
④ そう思わない	5	2.2%
計	224	100.0%

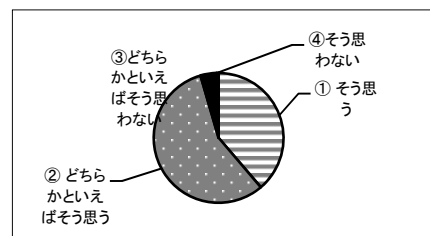
無回答 2



【自分に必要な知識やスキルを身につけることができた】

	度数	割合
① そう思う	86	38.7%
② どちらかといえばそう思う	126	56.8%
③ どちらかといえばそう思わない	9	4.1%
④ そう思わない	1	0.5%
計	222	100.0%

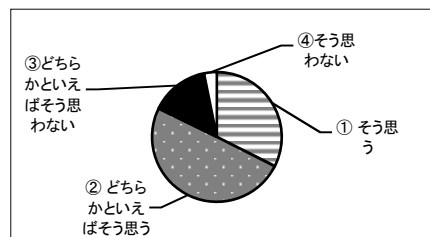
無回答 4



【業務や教育に対する意識や考え方が変わった】

	度数	割合
① そう思う	73	32.4%
② どちらかといえばそう思う	112	49.8%
③ どちらかといえばそう思わない	33	14.7%
④ そう思わない	7	3.1%
計	225	100.0%

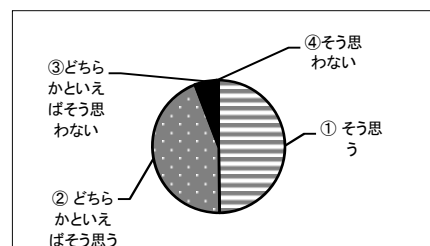
無回答 1



【業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった】

	度数	割合
① そう思う	111	49.8%
② どちらかといえばそう思う	99	44.4%
③ どちらかといえばそう思わない	12	5.4%
④ そう思わない	1	0.4%
計	223	100.0%

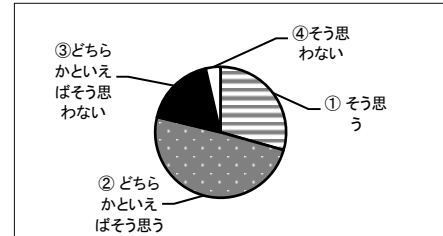
無回答 3



【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している】

	度数	割合
① そう思う	65	29.4%
② どちらかといえばそう思う	109	49.3%
③ どちらかといえばそう思わない	39	17.6%
④ そう思わない	8	3.6%
計	221	100.0%

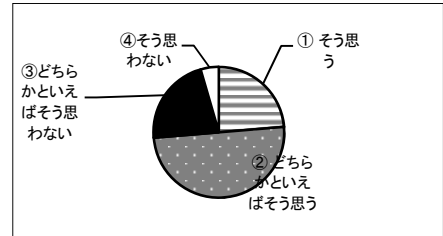
無回答 5



【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教員に伝達している】

	度数	割合
① そう思う	53	23.7%
② どちらかといえばそう思う	112	50.0%
③ どちらかといえばそう思わない	49	21.9%
④ そう思わない	10	4.5%
計	224	100.0%

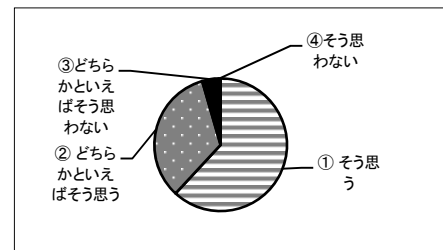
無回答 2



【今後もフォーラムをはじめ、SPODが提供するプログラムに参加したい】

	度数	割合
① そう思う	138	61.9%
② どちらかといえばそう思う	75	33.6%
③ どちらかといえばそう思わない	9	4.0%
④ そう思わない	1	0.4%
計	223	100.0%

無回答 3



2. 感想、ご意見、ご要望等（別紙参照）

3. 参加者ご自身について

所属先

	度数	割合
① 大学	197	87.2%
② 短期大学	21	9.3%
③ 高等専門学校	4	1.8%
④ その他	4	1.8%
計	226	100.0%

無回答 0

所属先の設置者

	度数	割合
① 国(国立大学法人)	90	40.0%
② 地方自治体(公立大学法人を含む)	33	14.7%
③ 学校法人	101	44.9%
④ その他	1	0.4%
計	225	100.0%

無回答 1

所属先の所在地

	度数	割合
① 四国	133	58.8%
② 東北	6	2.7%
③ 関東	25	11.1%
④ 中部	7	3.1%
⑤ 近畿	21	9.3%
⑥ 中国	22	9.7%
⑦ 九州・沖縄	12	5.3%
⑧ 北海道	0	0.0%
計	226	100.0%

無回答 0

職種

	度数	割合
① 教員	85	37.9%
② 職員	138	61.6%
③ 学生	0	0.0%
④ その他	1	0.4%
計	224	100.0%

その他の記述内容
・ 研究員(2)

無回答 2

あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？

	度数	割合
① FDの実施担当者	39	17.7%
② SDの実施担当者	13	5.9%
③ FDとSD両方の実施担当者	8	3.6%
④ FDやSDの実施担当者ではない	160	72.7%
計	220	100.0%

無回答 6

SPODフォーラム2014参加者からの要望等について

■開催時期／期間について

- ・開催時期は夏休み中が良い、参加し易い時期であるため
- ・4日日程でもいいくらい魅力的な内容ばかり。
- ・開催日程について、土日も含めて3日間とかであれば、より参加しやすいのかもしれませんが。自主参加したいと思った時に、平日であると前日参加したくても都合がつけられないこともあると思います。
- ・来年以降、就職活動スケジュールの後ろ倒し（採用選考8月解禁）に伴い、学生のキャリア支援に関するプログラムの実施や、関係教職員の参加が難しくなることを危惧しております。
- ・開催日程は、もっと長くっていただいてよいと思う。

対応（案）

過去の実績に基づき、教職員が最も参加しやすい夏季休業中の平日に開催する。なお、来年度は愛媛大学で8月26日（水）～28日（金）の3日間で開催する予定である。

■開催会場について

- ・会場周辺に宿泊施設がない場合、JRなどの公共交通機関の時刻とフォーラム開始時刻を考慮してほしい。
- ・四国外からの参加のため、出来れば主要駅から近い会場で開催していただければ幸いです。大変充実した内容なので、四国以外でも出張開催をしていただければと思います。
- ・都合により自動車で伺うこともあり、周辺の駐車場（有料で構いません）をいくつかお知らせいただければと思います。
- ・今回の高知大学（朝倉キャンパス）は市街地から離れていたことから、路面電車、バス等での移動にも時間がかかりました。遠方から参加させていただくには前泊を伴ったり、帰りに大学から市街地、そこから空港までの移動時間を要する等、少々負担を感じました。
- ・大学ごとにいろいろ工夫をしている教室で開催してはどうか。
- ・四国の各大学で持ち回っており、大学を見学する機会となっている。開催大学は、大変だと思いますが、よろしくおねがいします。
- ・高知大学は駅から近く交通の便はよかった。
- ・四国巡礼の趣を呈してきました。

対応（案）

今年度高知大学で開催したことにより、高知県内加盟校の教職員に多数御参加いただいた。2年前の徳島開催でも新たな参加者の獲得に繋がっており、SPOD加盟校にフォーラムを有効活用していただくためにも、四国内持ち回り開催について引き続き検討していく。また、参加者には公共交通機関の利用をお願いしていることから、フォーラムの開始時刻等についてはできる限り配慮する。

■広報活動について

- ・全体では開催校の教員の、リーダーセミナーでは学部・学科長・教務主任クラスの先生方の参加がとても少なかったように感じました。カリキュラム編成等で大学教育の中心を担う先生方には大学としてもっと参加を呼びかけるべきだと思います。
- ・関東・関西地方の大規模大学からの参加の多くが職員にとどまっているのが残念です。教員にもっと宣伝してほしいです。
- ・もっと多くの教職員に参加してもらいたいですね。
- ・今後もより多くの大学が参加されるよう、広報に力を入れて頂きたい。

対応（案）

フォーラムの広報については、チラシを作成し全国の高等教育機関に配布しているほか、SPODメールマガジンやホームページで案内している。また、あさがおMLや他機関ホームページでの開催案内掲載等、多くの教員が活用しているメディアでも積極的に行っているが、毎年職員の参加者数が上回っている状態である。加盟校外への案内周知については限界があるが、各加盟校においては、教員だけでなく管理職クラスの方々にも参加いただけるよう案内方法等の検討をお願いするとともに、運営側としても、多くの方が参加したくなるような魅力的なプログラムを提供する。

■参加者間の交流について

- ・常連の先生方どうして和気あいあいと話されている光景をよく見かけましたので、非常に良い場であると感じておりました。私も馴染めるようこれからも参加させて頂きたく思っております。
- ・2日間（28日・29日）の参加で3つの講座に参加しました。全て、WS形式でグループ編成がありました。WS形式には慣れていたつもりでしたが今回とてもストレスフルになりました。28日に2つのワークショップを終えたところで、とても3つ目のWSに参加する気になれず、3つ目をキャンセルしました。
- ・事前に自己紹介用紙を記入してもらって、セミナー当日にみんなに配付できるようにしておくとひととなりがわかって、親しみが出ると思う。

- ・始まる時間が遅く、終わる時間が遅いため、他の教職員と意見交換する時間が少なく感じた。プログラムを朝方にシフトすることは難しいのでしょうか。涼しい時間に実施されることで冷房費も抑えられるかもしれません。
- ・3日間の会期のうちオフィシャルな懇親会は1回しかできないとしても、それ以外の日の夜に、この指とまれ形式の飲み会情報が会場の一角に掲示され、行きたい人が自由に集まれるような仕掛けがあるとありがたい。例えば「若手職員同士飲みながら語りませんか？@ひろめ市場」など。いわば分科会みたいな飲み会です。
- ・懇親会は、高専チームなど職域の近い者をグループ分けしてテーブル設定して欲しい。名前も分からず懇親にならなかった。

対応（案）

- ・SPODフォーラムは、年々大学教職員の間で定着していると感じる。フォーラムの特徴であるワークショップ型研修の提供が、自然に参加者間の交流を促進しており、フォーラムへの参加を同窓会に出席するような気持ちで参加されている方もいらっしゃる。一方で、SPODとしては、これまでどおり特徴である参加型の研修を提供していくが、それだけにとらわれず新しいスタイルの研修についても検討していく。
- ・例年、参加者相互の交流を図ることを目的として、リフレッシュルームの設置や懇親会の開催のほか、ラウンドテーブル、ランチョンセミナーや連続受講プログラムを設ける等、色々工夫しているところである。現在、来年度のフォーラムについて検討中であるが、ポスターセッション等、参加者が自然に交流を図ることができる仕掛けについてアイデアを出し合って検討している。
- ・懇親会についても、参加者が交流しやすくなるような仕掛けを検討する。

■プログラム構成について

- ・世代別の企画があっても面白いと思います。
- ・合宿形式も良いと思う。
- ・同一内容を日をずらして重複して行うなど、人数超過で受講できないといったことがないようにして欲しい。
- ・定員の関係上、受講したいプログラムに参加することができなかった点。
- ・受講したい科目の時間帯が重なり、受けた科目が受けられなかった。内容・テーマごとに(あるいはFD、SDごとに)教室が分かれていれば、重なりが減るのではないか(面倒な注文かもしれませんが)。
- ・学会形式で、ポスター、オーラル、シンポジウム形式で事例報告など各大学の事例を発表でき、それらについてディスカッションできる機会があると、自分たちのやり方にアドバイスをもらったり、参考にしたりできると思います。
- ・国立大学は専門スタッフも潤沢であるが、私学は少ないスタッフをやり繰りしながら、何とか業務を改善しようとしているので、そうした私学にも役立つ講座も考えて欲しい。

- ・SDや、FDSDどちらにも対応したプログラムが増え、FDに関するプログラムが減ったような気がします。まだまだFDプログラムを充実させて欲しいと思いました。
- ・開講科目から興味のあるテーマを選択して受講できる点がよい。申込みが遅くなり、受けたい思った内容の一部は既に満員であった。
- ・内容を詰め込みすぎていると思われるプログラムが散見された。
- ・もう少し1回のプログラムの時間を長くしたほうがよいのではないかと。時間に追われてしまって、きちんと完結しないプログラムがあった。
- ・3年連続で参加させていただいたが、少し新鮮さを感じなくなった。

対応（案）

- ・フォーラムは毎回全体的に好評であるが、例年プログラム構成について賛否様々なご意見をいただいている。マンネリ化というご意見もあるが、人気の高いプログラムについては受講できなかった方のため2年以上開講することとしており、リピーターの確保に繋げている。また、FD／SDのプログラム数については、一方に偏ることが無いようバランスを考慮して配置しているほか、教職協働が問われる状況の中、教員職員が共に考える場としてFD／SD共通プログラムも積極的に提供している。今後も引き続き、新規の方にもリピーターの方にも満足いただける、時代のニーズに合わせた魅力的なプログラムを提供していく。
- ・研修時間については、次回はもう少し柔軟な時間設定となるよう検討中である。

■プログラムの進行・運営について

- ・講演者の対象とする受講者像と、受講者がシラバスから予想する講演内容のギャップがあった。またそれは自分のみならずまわりの数人でも同意見であった。
- ・FD／SDと書かれたものでも、内容は明らかにSDのものであるものがあり、期待した内容とはまったく異なるものがあった。対象が誰なのか明確にする必要がある。
- ・予期した内容（プログラム内容の説明も読んでいた）と異なっていると感じる内容のものがいくつかあった。
- ・シラバス等に設定してある到達目標と、実際に内容に若干ずれがあったので改善してほしい。
- ・教職員が混在するプログラムにおいてグループワークをする場合、できれば教職員が混在 or 教員/職員でのグループ割りがいいと思います。私が参加した教職員混在のプログラムは自由席だったのですが、運悪く私以外全員が教員でして、ワークの際に共有できる事が少なかったです。
- ・ある程度の前知識が必要なものについては、受講者のレベルをそろえるため、簡単なアンケートを事前に課してはどうか。
- ・SPODの会場に際し、県外から来た他大学の方々のために簡単な観光スポットなどの冊子を入れていただきたいと思います。

対応（案）

・今年度は、申込み時にシラバスを確認いただけるようチラシやホームページ上で工夫したところ、例年指摘をうけてきた「事前にプログラム内容を把握したい」等のコメントはなく、シラバスを確認された上で申込みいただけるよう改善されたことが分かった。しかし、上記コメントのようにシラバスと研修内容にギャップがあったとの指摘をいくつかいただくこととなった。次回フォーラムでは、講師の方々には、受講者に分かりやすいシラバス作成及びそのシラバスに沿った研修の実施をお願いするとともに、運営側としても講師の選考を早めに行い、内容を十分検討いただいた上でシラバス作成に望んでいただけるようスケジュールを調整する。

・講師から希望のあったプログラムについては、予め職種や所属を考慮の上、グループ分けを行っているが、指定がない場合は自由席となっている。会場受付で、同じ所属の方や職員同士が別グループとなるよう呼びかけるほか、講習冒頭に講師からも、受講者がより多くの方と交流いただけるグループメンバーとなるよう促していただく。

・シラバスの中で受講対象者を記載いただくことにより、ある程度のレベル設定を行っている。あとは、参加者の自己判断となるところであるが、講師には受講レベルをイメージしやすいよう受講対象者をより具体的に記載いただくこととする。また、研修によっては参加者に予習として事前課題を提示し、共通知識をもって研修に望んでいただくための工夫をする。

■シンポジウムについて

・今回の最終日の「シンポジウム」は、シンポジウムというよりワークショップだった。そのことを、事前にアナウンスしておくべきだったと思います。

・日程はこのあたりでいいですが、シンポジウムを最終日の午後にもってくると、遠隔地の者は出られなくなります。

対応（案）

・シンポジウムについては、ワークショップ形式での実施やツイッターの導入など、参加者の皆様に満足いただけるものとなるよう毎年改善の努力を行っている。引き続き、内容・進行等を見直しつつ、教職員が一体となって考えることができるシンポジウムとなるよう工夫する。

・シラバスには参加型シンポジウムと明記していたが、講師の方々には受講者により分かりやすいシラバスとなるよう記入時に注意していただく。

・シンポジウムの日程については、開催校の状況を含め、フォーラム全体の流れを考慮しつつ決定させていただく。

■運営上の要望について

- ・名札について、スタッフも名前を入れるべき。
- ・研修スタッフに対する説明が不十分なのか、講師から指示されたこと（機器の不具合、体調不良者の対応等）の対応に戸惑っている場面が見られました。
- ・研修を受けつづけているとちょっと疲れる感じもするので、次回は一コマ休みを入れる等工夫して参加したいと思います。そのためには、参加者がくつろいで休憩出来る場所も必要かと思います。
- ・開催日程をもう少し早くに決定できないでしょうか。

対応（案）

- ・開催日程については、年内にはメールマガジンやホームページでご案内している。手続き上、詳細なプログラムについては毎年6月頃のご案内となっているが、できる限り早く案内できるよう調整する。
- ・運営スタッフのほとんどは、事前に1度の説明を受けただけでご協力いただいている他大学や他部署の職員であるため、対応に手間取ってしまうことはある程度仕方がないと考えている。その場合でも、より経験豊富なスタッフを巡回させるなどの対策はとっているが、ご協力いただくスタッフが当日よりスムーズに動けるよう、事前の説明会の内容を改善する等さらに工夫する。
- ・受講者の休憩場所については毎回準備しているが、会場の関係上、全ての参加者に便利な場所での提供は難しい。また、休憩時間も短いため、実質的に十分に活用いただける状況ではない。今後は、プログラム配置や休憩時間等を検討し、参加者が交流を図りながら一息つける場所作りについても検討する。

平成27年度SPOD内講師派遣プログラム一覧(案)

ジャンル	区分	No.	プログラム名	担当講師			
				徳島大学	香川大学	愛媛大学	高知大学
授業改善・ 教授法	FD	1	学生の学びを促すシラバスの書き方	宮田,吉田	葛城	小林,秦,山田,仲道	塩崎,立川,俣野
	FD	2	グラフィック・シラバスの作成方法				立川
	FD	3	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門 ～ARCS動機づけモデルの活用～			仲道	
	FD	4	学生の学が意欲を引き出す授業とは？		岩中		塩崎,立川,俣野
	FD	5	大人教講義を魅力的にするテクニック	川野	葛城,佐藤	小林,山田	
	FD	6	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン				俣野
	FD	7	学生が動く・変わる・活き活きするグループワークの進め方			小林,秦,山田	塩崎,立川,俣野
	FD	8	教えないで成績を上げるTBL(チーム基盤型学習)という授業方法				立川
	FD	9	クラスルーム・コンントロール			秦	
	FD	10	効果的なeラーニングの活用方法			仲道	
	FD・SD	11	マインドマップ入門講座				俣野
	FD	12	基礎から学ぶ学習評価法	宮田	佐藤	山田	塩崎,俣野
	FD	13	マンネリ化しない公開授業の秘訣～公開授業の効果的実施方法～	宮田		秦,山田	
	FD	14	授業アンケートを見直しませんか？～アンケートの効果的実施と活用方法～			秦,山田	塩崎,立川,俣野
	FD	15	ティーチング・ポートフォリオ入門～教育実践のリフレクション～			小林,秦,清水	
	FD	16	高専生を元気にする学生指導法のコツ				坪井
	FD	17	担任教員に求められること～担任スキル開発ワーク～				坪井
	FD	18	事例から見た、学生・保護者から信頼される高専教育				坪井
プログラム 開発							
高専向け							

平成27年度SPOD内講師派遣プログラム一覧(案)

ジャンル	区分	No.	プログラム名	担当講師				
				徳島大学	香川大学	愛媛大学	高知大学	阿南高专
業務改善	SD	19	大学職員のための企画力養成講座			秦 阿部,仲道		
	SD	20	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座			秦 阿部,仲道		
	FD・SD	21	教職員のためのPowerPoint～分かりやすい話の組み立て方・資料作成・分かり易い話し方～				立川	
	FD・SD	22	プロジェクト・マネジメント入門			仲道, 丸山		
人材育成・人事制度	SD	23	スタッフ・ポートフォリオ入門～職員と大学が共に輝くために～			秦 阿部, 清水		
	SD	24	持続可能なSDプログラムの開発手法			秦 阿部		
	SD	25	人事人材育成ビジョンの必要性			秦 阿部		
学生支援に関するプログラム	FD・SD	26	学習ポートフォリオ入門～学習活動のリフレクション～			秦 山田		
	FD・SD	27	学生の自立を促す学生支援の実践とコソ	吉田	葛城, 佐藤	秦	塩崎, 立川	
IR	FD・SD	28	教育の質保証と学習成果アセスメント			山田		
事例紹介	FD	29	学生が輝くFDの実践事例			小林, 山田	塩崎, 立川, 俣野	
	SD	30	職員が輝くSDの実践事例			秦 阿部		
	FD・SD	31	SPOD課題発見コンサルテーション FD・SDを効果的に進める組織づくり～事例紹介とお悩み相談～	徳島県内担当	香川県内担当	愛媛県内担当	高知県内担当	

平成27年度SPOD内講師派遣プログラム概要

各プログラムの内容は各校のご希望に応じて可能な限り柔軟に対応いたしますので、実施プログラム決定後、担当講師にご相談ください。

ジャンル	区分	No.	プログラム名	内容概要	講師 派遣元
	FD	1	学生の学びを促すシラバスの書き方	シラバスは、授業デザインの基礎であり、より良いシラバスを作ることはより良い授業を作るための出発点となります。しかし、シラバスを作るためには、様々な授業形態、評価方法といった知識がなければなりません。また、授業全体をわかりやすく構築するデザイン力も必要となります。本プログラムでは、参加者の皆さんに良い授業のヒントを持ち帰っていただくため、シラバスの定義、目的、目標の設定、授業内容、スケジュールのデザイン、評価方法の選択について具体例を示しながら解説します。また、学生の時間外学習を促す事例も紹介します。シラバスを持参の上参加いただければ、その場でブラッシュアップしていただくことができます。	コア校
	FD	2	グラフィック・シラバスの作成方法	シラバスは、学習目標やスケジュールが書かれた、授業に関する最大重要文書と言えます。ところが、教員が期待するほどには、学生は注意深くシラバスを読んでいないのも事実です。たとえば、学生が読んだとしても、教員が持つ背景知識を踏まえてシラバスの内容を理解することは困難です。 グラフィック・シラバスとは、学習内容をフローチャート、ダイアグラム、樹形図として一枚のマップに表現したものです。学生はこれを読むことによって、学習目標や内容を効果的に理解できるだけでなく、容易に記憶にとどめることができます。また教員は、これを通して、自らの授業内容やキーワードを精選し、構造を明確化し、より円滑な流れで授業の再構成を行うことができます。	コア校
	FD	3	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うための インストラクショナル・デザイン(ID)入門 ～ARCS動機づけモデルの活用～	本プログラムでは、これまで自身が実施してきた教育に対する考え方や実施方法について思つめ直し、何が課題であるかについて考えるところからはじめ、学習をより効果的・効率的・魅力的にするための方法論であるインストラクショナル・デザイン(以下、IDという)の中から、学習者を動機づけるための手法(ARCS動機づけモデル)や学習者の学びを支援するための働きかけに関する理論を事例とともに学び、ワークシヨップ形式にて課題解決策の糸口を探っていきます。やる気(学ぶ意欲)は、学生の授業態度、授業外での自主学習の質や量、最終的に学習成果を決定する要因です。授業を通して学生のやる気を引き出すことは私たちの大切な役割です。	コア校
	FD	4	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	DVD教材を使用する、グループ活動を行わせる、ゲーム的要素を盛り込む等、学生のやる気を引き出す方法は様々ですが、その場しのぎの活動になってしまうと学習成果は期待できません。学生のやる気を引き出しそのやる気を保持するための理論的な仕組みを理解した上で、どのような授業活動を行うのかを考えていく必要が 있습니다。本プログラムを通して、参加者の皆さんに学生のやる気を引き出すための理論的な仕組みを理解していただき、授業に役立つ具体的なアイデアを互いに共有したいと思ひます。本プログラムをよりインタラクティブで実りのあるものにするために、参加者の皆さんは、自分の授業において学生のやる気を引き出すためにどのような工夫を行っているのかを箇条書きにしたメモをご持参ください。	コア校
	FD	5	大人数講義を魅力的にするテクニク	「よい」講義とはここでは、聞き手の学生にとって分かりやすく、知的な緊張感があり、さらに学生が参加する(した気)させる)講義、ということになります。本プログラムでは、学生とコミュニケーションを取る方法、講義に参加させる方法や授業効果を高める方法など、大人数の学生を聴衆とした「よい」講義をするために気をつけておかなければならない様々な授業スキルを、実例や実習を通して習得することが出来ます。また大人数講義でも取り入れることが可能な、簡単な参加体験型授業/アクティブ・ラーニング型授業の一例として、受講者に実際にグループワークを体験していただきます。	コア校
	FD	6	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン	“学びのプロセスに学生自身がどれだけ関わることができたか”が学習成果を左右すると言われています。ここ数年、学生参加型や双方向型授業といった名称の授業が増えていることの大きな理由がここにあります。そこで本プログラムは、授業の活動性を高めるために、講義の一部にグループ学習やペア学習を取り入れてみたいと考えている教員を主な対象として、そのための考え方や方法(主に協同教育の理論)を参加メンバーと共に学び、理解することを目的として実施されます。	コア校
	FD	7	学生が動く・変わる・活き活きするグループワークの進め方	グループワークを取り入れた参加型授業形式を取り入れる大学教員が増えています。一方、グループ毎に取組みに差が生じる、グループ内での作業に個人ごとの偏りがあるなど、実施にあたっては課題もありません。本プログラムでは、様々なグループワークの事例を紹介しながら、上手な進め方や成功するためのコツを学びます。参加者は実際にグループワークを体験しながら学習することが出来ます。受講後は、現状より活発なしかけができるようご指南することを目指します。	コア校
	FD	8	教えないで成績を上げるTBL(チーム基盤型学習)という授業方法	教えても教えても成績が上がらない。そんな悩みはありませんか？ TBL:チーム基盤型学習には次のような特徴があります。正しい知識をたくさん身につけてもらいたい授業に最適です。グループワークで授業を進めるのに、20チームあっても教員1人知恵を尽くして対応できます。協同学習の要素を取り入れた仕掛けがあるため失敗しにくく、グループワークの経験が少ない教員でも無理なく導入できます。予習が前提で、単位の実質化ができます。何より受講生が元気になり、グループワークのための様々な能力を目覚めさせます。こんな授業を一度体験してみませんか？	コア校

授業改善・教授法

平成27年度SPOD内講師派遣プログラム概要

各プログラムの内容は各校のご希望に応じて可能な限り柔軟に対応いたしますので、実施プログラム決定後、担当講師にご相談ください。

ジャンル	区分	No.	プログラム名	内容概要	講師派遣元
授業改善・教授法	FD	9	クラスルームコントロール	「居眠りをさせないためのコツ」「私語をさせないためのコツ」といった、学生を授業にうまく引き込み、学生のモチベーションを最初から最後まで高く維持するための手法について学びます。さらに、授業の準備段階から、授業開始時、途中、終了時において、段階的に効果的なしつけを活用することで、学生が集中して授業に取り組むようになる手法について、講師の実践例を紹介しながら学びます。	コア校
	FD	10	効果的なeラーニングの活用方法	高等教育機関において、学習効果を上げるための方法としてeラーニングが注目されています。本プログラムでは、「eラーニングを授業に取り入れてみよう」「eラーニングをどのように活用することが有効なのかを知りたい」「自身の授業改善に役立てたい」「どこから始めるとよいかわからない」という方に対して、実際に授業で活用されている様々なeラーニング事例を紹介するとともに、ワークシヨップ形式にて自身の授業で、どう活用できるかを探っていきます。	コア校
	FD	11	基礎から学ぶ学習評価法	本プログラムでは、学習評価の基礎知識である、学習評価の原則、学習評価の公平性、テストの作成法、学習評価の厳密化と効率化のための評価ツール、について学びます。これまでの自己の学習評価方法を見直し、公平性・厳密性と効率性の両方を満たすものにするためのヒントを持ち帰ることができます。シラバスを持参の上参加いただければ、その場でブラッシュアップしていただくことができます。	コア校
	FD SD	12	マインドマップ入門講座	マインドマップは、Tony Buzanによって開発された思考手法・ノート術で、記憶力・理解力・集中力・創造的思考力・問題解決力などの様々な能力を高めるとされています。イメージと連想をもとに放射状に思考を広げるところに特徴があり、ビジネスや教育現場において注目されています。本プログラムは、実際に頭と手を動かしながらMind Mappingを体験することを通して、参加者自身の日々の実践へのヒントを持ち帰ることを目的として実施されます。	コア校
プログラム開発	FD	13	マンネリ化しない公開授業の秘訣 ～公開授業の効果的実施方法～	公開授業は、日本において最も一般的な授業改善の一つだと言えます。一方で、形式的な実施に陥っている(マンネリ化)という声も聞きます。「やりっぱなし」にせず、効果的に実施するためには、どうしたらよいのでしょうか。またその結果をどのように活用したらよいのでしょうか。本プログラムでは、国内外の様々な事例を紹介しながら、上記の問いを考えていきます。開催校のアンケートを持参いただければ、項目の検討を行うワークを入れることができます。	コア校
	FD	14	授業アンケートを見直しませんか？ ～アンケートの効果的実施と活用方法～	授業アンケートは、日本において最も一般的な授業改善の一つだと言えます。一方で、形式的な実施に陥っている(マンネリ化)という声も聞きます。「やりっぱなし」にせず、効果的に実施するためには、どうしたらよいのでしょうか。またその結果をどのように活用したらよいのでしょうか。本プログラムでは、国内外の様々な事例を紹介しながら、上記の問いを考えていきます。開催校のアンケートを持参いただければ、項目の検討を行うワークを入れることができます。	コア校
	FD	15	ティーチング・ポートフォリオ入門 ～教育実践のリフレクション～	本プログラムでは、ティーチング・ポートフォリオとは何かについて基本的な内容を学んでいきます。具体的には、ティーチング・ポートフォリオが、教育改善や教育業績評価にいかなる点で役立つかといった必要性と有効性について、また、ワークシヨップへ参加予定の先生方は事前準備として活用いただけます。	コア校
高専向け	FD	16	高専生を元気にする学生指導法のコツ	成長途上の学生へのサポートでは、人間関係の悩み、保護者との連携、教員間の協同等などについて知識と対応のスキルを求められます。学生それぞれに異なる悩みを受けとめ、その成長を支えることは容易ではありません。保護者の価値観は多様で、学校の教育指針と一致しないことも少なくありません。一方、教員間で教育情報を共有し協同することも難しい問題です。それでも、学生はサポートを必要としています。本プログラムは、高専の教育現場で起きている事例について、どう対応すれば適切に学生をサポートできるのか、グループワークによるケーススタディを中心に検討し、広範な学生サポート力の獲得に資するよう展開します。	阿南高専
	FD	17	担任教員に求められること ～担任スキル開発ワーク～	成長途上の学生へのサポートでは、人間関係の悩み、保護者との連携、教員間の協同等などについて知識と対応のスキルを求められます。学生それぞれに異なる悩みを受けとめ、その成長を支えることは容易ではありません。保護者の価値観は多様で、学校の教育指針と一致しないことも少なくありません。一方、教員間で教育情報を共有し協同することも難しい問題です。それでも、学生はサポートを必要としています。本プログラムは、高専の教育現場で起きている事例について、どう対応すれば適切に学生をサポートできるのか、グループワークによるケーススタディを中心に検討し、広範な学生サポート力の獲得に資するよう展開します。	阿南高専
	FD	18	事例から見た、学生・保護者から信頼される高専教育	学校教育の不調は、時に、強いクレームや裁判として顕在化します。教育活動そのものに問題がある場合、教育活動への理解を得られない場合など様々ですが、いずれも学生・保護者から学校および教員が信頼を得られていないことが最大の要因の一つです。裁判事例をふまえて先行研究を参照しつつ、教育現場の観点から信頼される高専教育のあり方を確認します。あわせて、各高専において、信頼される教育活動を全学的に行うための検証・支援方法について考えましょう。	阿南高専

平成27年度SPOD内講師派遣プログラム概要

各プログラムの内容は各校のご希望に応じて可能な限り柔軟に対応いたしますので、実施プログラム決定後、担当講師にご相談ください。

ジャンル	区分	No.	プログラム名	内容概要	講師 派遣元
業務改善	SD	19	大学職員のための企画力養成講座	大学職員に必要な能力として「問題発見・解決能力」がよく取り上げられています。本プログラムは、大学改革、業務改善を行っていく上での、「問題発見・解決能力」と「企画提案力」の手法を学ぶものです。このプログラムで身につけた手法や企画書を実際に大学に持ち帰り、上司や大学に提案できるよう、実践に即したスタイルで行います。大学や今の業務に疑問や改善点を持っている職員の方はもちろん、どうやって見つけたら良いのか分からない職員の方にもご参加ください。	コア校
	SD	20	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	判断・決断は上司や役職者だけが行うものだと思っていないかもしれませんが、実は、若手・中堅職員においても、業務の中で、判断・決断を下さなければならない場面は多々あります。 あなたはどのように判断・決断を行っていますか？そもそも、判断と決断の違いとは何でしょうか？また、判断を速やかに行うには何か必要であり、決断を下すには何をもちに行えば良いのでしょうか？判断や決断が速やかな人は好感を持たれますが、その判断や決断が誤っていると信頼を失います。また一方で、決定しやすい判断が良い判断とは限りません。 このように、本セミナーでは、判断力と決断力の違い、それらを効果的に行うために必要な条件を理解した上で、実践トレーニングを行うことで参加者の皆さんの判断力・決断力スキルの向上を図ります。 当日は、レクチャーやグループワーク、ディベートなどを組み合わせ、進めていきます。	コア校
	F D S D	21	教職員のためのPowerPoint ～分かりやすい話の組み立て方・資料作成・分かり易い話し方～	使えると便利なんだろうけど、いまいち効果的に使えそうな気がしないんだよね～・・・とこの足を踏んでいませんか？ パワーポイントなどのスライドウェアは授業でプレゼンテーションする教員はもちろん、意外に使えと職員の皆さんにも便利なツールです。何かをプレゼンテーションすることを前提に、一連の流れを体験してみましよう。プレゼンテーションには構想、資料作成、発表練習の3段階がありますが、あまりにも資料作成に時間をかけておき、効果的なプレゼンに結びつかない人が非常に多いです。プレゼンで失敗しないために三つのステップで何をやっておかなければならないか、一度体験してみましよう。	コア校
	F D S D	22	プロジェクト・マネジメント入門	プロジェクトを成功させるためには何が必要か、その基本となる方法論やプロセスを習得することを目指します。 様々な種類のプロジェクトが存在する中、日々の日常的な業務の効率化を図るツールとしても活用できます。プロジェクトを成り行きに任せるのではなく、しっかりとコントロールすること、及び終了後のフィードバックの重要性を学びます。部署内、及び部署を横断したプロジェクトが増えていくなか、最終的には、プロジェクトマネジメントを職場で実際に適用するためのポイントを説明できるようにすることを目標としています。	コア校
	SD	23	スタッフ・ポートフォリオ入門～職員と大学が共に輝くために～	スタッフ・ポートフォリオとは、職員自らがキャリア形成を図れ、組織としてはこれにより職員一人ひとりの可能性や潜在能力を知ることができるツールのことです。本プログラムでは、スタッフ・ポートフォリオの詳しい定義やその有益性を説明した後、SPOD→SDでの活用例及び愛媛大学での導入例や実際にスタッフ・ポートフォリオを作成した職員の声を聞き、実践例を示します。 スタッフ・ポートフォリオは大学や大学職員人事マネジメントにどのような影響や効果を与えるのでしょうか。また、職員個人にどのような影響や効果があるのでしょうか。さらには、スタッフ・ポートフォリオは簡単に作成することができるのでしょうか。作成する場合に重要なことは何でしょうか。このような疑問を一つずつ解決できるようなプログラムとなっています。	コア校
人材育成・人事制度	SD	24	持続可能なSDプログラムの開発手法	SDとは事務系職員の能力開発活動であり、人材開発から始まって、組織の活性化、組織の業績向上、最終的には大学等の特性として地域の活性化と結びついていくものです。SDには、職場の中で仕事に就きながら仕事に即して教育するOJT(職場内教育)と職場から一定期間離れてまとまった教育をするOFF-JT(職場外教育)があり、意図的、計画的、持続的に実施しなければなりません。本プログラムはそのプログラム開発のための手法を学ぶ作業を行います。	コア校
	SD	25	人事人材育成ビジョンの必要性	本プログラムは、SPODに加盟する各大学の人事・人材開発の担当職員に対して、各大学にふさわしい人事マネジメントシステムを効果的に機能させ、職員一人ひとりが優れた人材に育っていくための基本的な人材育成ビジョン開発の手法を理解することができます。	コア校

平成27年度SPOD内講師派遣プログラム概要

各プログラムの内容は各校のご希望に応じて可能な限り柔軟に対応いたしますので、実施プログラム決定後、担当講師にご相談ください。

ジャンル	区分	No.	プログラム名	内容概要	講師 派遣元
学 生 支 援	FDSD	26	学習ポートフォリオ入門～学習活動のリフレクション～	近年の大学教育改革において、学びを通じて得た様々な力を可視化するための手段の一つとして「学習ポートフォリオ」が注目されています。学生が在学中に経験したこと、身につけたもの（学習の成果）を紙媒体あるいは電子媒体(e-ポートフォリオ)によって蓄積していきます。学生はこの作業によって自らの学びを振り返り、意味づけ、自身の目標ややるべきことを明確にするとともに、就職時などにも活用することが可能になります。教職員にとっては、多様な学修履歴をもつ学生個々人の特性を踏まえて指導にあたることで、対外的な評価に対する教育成果（エビデンス）としても示すことができます。	コア校
	FD SD	27	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	本プログラムでは、こうした学習ポートフォリオの概論（特徴や事例等）を踏まえて、所属組織において望ましい学習ポートフォリオの作成や活用方法について共に深めたいと思います。	コア校
IR	FDSD	28	教育の質保証と学習成果アセスメント	学内での学生活動の中心となるリーダー育成や学生同士によるピア・サポートが新たな学生支援として注目を浴びています。四国内でもそのような取り組みが盛んにおこなわれており、それらの事例と教職員がどのように関与していけば良いのかのゴツの紹介を複数大学の事例紹介を織り交ぜながら進めます。必要に応じ、取り組みに関与している学生の生の声も聞けるようにいたします。教職員だけでなく、学生を巻き込んだ総合的な研修となっています。	コア校
	FDSD	28	教育の質保証と学習成果アセスメント	学習成果測定は、教育の質保証に関する国際的動向の中で喫緊の課題として注目されています（例えば、OECDのAHELO等）。国内では中教審による「学力」や日本学術会議による「分野別の教育課程編成上の参照基準」等が提起され、急速にアウトカムに基づく学力課程教育の体系化が求められています。しかし、国内外ともに学習成果の測定は概念の曖昧さも含めて十分に議論や実践が成熟しているとは言えない状況です。同時に、その測定方法も多様で、唯一の解は存在しません。そこで、自らの所属する機関の特性・文脈を踏まえつつ、学生調査などを始めとして様々な観点から学習成果の測定に関する多様な実践を蓄積し検証していく必要があります。	コア校
事 例 紹 介	FD	29	学生が輝くFDの実践事例	本プログラムでは、FDの意義・定義、歴史・国際動向、FDの取組み事例、推進する上でのゴツを説明します。また国内外の優れた取組み事例、組織体制を紹介します。希望に応じて所属機関のFDに関するコンサルティングやニーズ分析を行います。本格的なFDの取組みはこれからという導入時期に最適なプログラムです。	コア校
	SD	30	職員が輝くSDの実践事例	SDを担当する者にとって、職場内能力開発の基本的な知識が必要です。しかしながら、高等教育関係者がこうした基本的な内容を学ぶ機会には限られています。そもそも職場における能力開発は何のために行うのか。どのような類型があるのか。企画、実施、評価というサイクルをどのように回していけばよいのか。そして、機能的な能力開発組織をどう構築したらよいのか。こうした基本的内容を学び、日々の実践を見直します。	コア校
	FD SD	31	SPOD課題発見コンサルテーション FD・SDを効果的に進める組織づくり ～事例紹介とお悩み相談～	本プログラムでは、機能的な能力開発組織（SD担当部局）の事例や、組織的な能力開発体系の事例も学びながら、高等教育機関において、どのように組織的に能力開発を進めていけばよいのかを考えます。 FD・SDの現状と課題に関する情報交換、成功事例の紹介等を行いながら、高等教育関係者がこうした基本的な内容を学ぶ機会には限られています。そもそも職場における能力開発は何のために行うのか。どのような類型があるのか。企画、実施、評価というサイクルをどのように回していけばよいのか。そして、機能的な能力開発組織をどう構築したらよいのか。こうした基本的内容を学び、日々の実践を見直します。	コア校

平成26年 月 日

別紙 事務担当者 殿

SPOD事務局(愛媛大学教育企画課)

平成27年度SPOD内講師派遣について(依頼)

日頃より、SPOD事業に対する御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、SPODはお陰様で今年で設立7年目を迎え、平成25年度SPODネットワーク総会でもお知らせしておりますとおり、昨年度設置された「SPOD将来構想ワーキンググループ」の中で、今後の運営について検討を始めたところです。

同ワーキンググループでは、毎年1回^(※)無料で研修講師の派遣を行っている本事業のあり方についても検討がなされております。

つきましては、例年行っております派遣プログラムの希望調査に加え、各加盟校のFD／SD活動における派遣プログラムの位置づけについても併せて調査し、当該事業を貴組織においてより有効的に機能させるための検討材料とさせていただきたいと存じます。各加盟校におけるFD／SD活動への長期的な支援の一環として、各校の方針に沿って当該事業を御活用いただくため、御協力をお願いいたします。

ついては、別添様式により平成27年 月 日()までにSPOD事務局(spod@stu.ehime-u.ac.jp)に御提出ください。

なお、平成27年度より、SPOD内講師派遣プログラムについては「プログラムガイド」への掲載を行わないことといたしましたので、その旨御了承ください。

※ 1法人に複数大学・短期大学・短期大学部が併設されている場合は1法人あたり1回の派遣とします。(高等専門学校除く)

(添付ファイル)

- 1 依頼文書
- 2 SPOD内講師派遣プログラム一覧(回答様式)
- 3 SPOD内講師派遣プログラム一覧(記載例)
- 4 SPOD内講師派遣プログラム概要一覧

(担当)

SPOD 事務局(愛媛大学教育企画課)

濱元, 山内, 松崎

TEL 089-927-9154

E-mail spod@stu.ehime-u.ac.jp

別紙

SPOD内講師派遣送付先一覧

送付先法人等名	参考 加盟大学等名
徳島大学	同左
鳴門教育大学	同左
香川大学	同左
愛媛大学	同左
高知大学	同左
香川県立保健医療大学	同左
愛媛県立医療技術大学	同左
高知県公立大学法人	高知県立大学
	高知短期大学
	高知工科大学
学校法人四国大学	四国大学
	四国大学短期大学部
学校法人村崎学園	徳島文理大学
	徳島文理大学短期大学部
学校法人四国高松学園	高松大学
	高松短期大学
学校法人聖カタリナ学園	聖カタリナ大学
	聖カタリナ大学短期大学部
学校法人松山大学	松山大学
	松山短期大学
学校法人松山東雲学園	松山東雲女子大学
	松山東雲短期大学
徳島工業短期大学	同左
香川短期大学	同左
今治明德短期大学	同左
環太平洋大学短期大学部	同左
高知学園短期大学	同左
阿南工業高等専門学校	同左
香川高等専門学校	同左
新居浜工業高等専門学校	同左
弓削商船高等専門学校	同左
高知工業高等専門学校	同左

平成27年度SPOD内講師派遣プログラム希望調査

学校名:

SPOD共通事業であるSPOD内講師派遣事業をご利用いただくにあたり、各加盟校におけるFD／SD活動への基本方針を考慮した上で、講師派遣を希望するプログラムを3つお選びください。各加盟校から回答をいただいた後、コア校で講師を調整の上、決定プログラムを連絡します。
なお、希望プログラムが無い場合には、対象校と相談の上、プログラムNo. ●●として情報交換等のために訪問させていただきます。

留意事項

- ・各加盟校につき、1回1プログラムの実施とします。ただし、1法人に複数大学・短期大学・短期大学部が併設されている場合は1法人あたり1回とします。(高等専門学校除く)
- ・調整の関係上、希望順位を付して3つ選択してください。
- ・実施内容の詳細については、プログラム決定後、担当講師に直接ご相談いただくこととなります。

(1)[経 緯] 選択したプログラムを希望するに至った、貴組織の背景、状況(主催者の意図)等をお知らせください。

(2)[目的／目標] 今回の研修の目的／目標はどのようなものでしょうか？

(3)[参加者] 参加者はどのような方々(専門分野、経験、役職等)で、何名ほどの参加(全員必修か希望者のみの参加かを含む)を見込んでいますか？

(4)[今後の計画] (可能であれば)貴組織において今後どのようにFD／SD活動を進めていく予定かお教えてください。

→裏面へ続く

平成27年度SPOD内講師派遣プログラム希望調査

学校名:

(5) 講師派遣を希望するプログラムを3つ選んでいただき、「希望順位」欄に希望順に1～3の番号を記載してください。

ジャンル	区分	キーワード	No.	プログラム名	形態	希望順位
授業改善・ 教授法	FD	シラバス, (教授法, 評価)	1	学生の学びを促すシラバスの書き方	講義, ミニワーク	
		シラバス, (教授法, 評価)	2	グラフィック・シラバスの作成方法	講義, ミニワーク	
		授業設計, 動機づけ, 学習理論	3	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うための インストラクショナル・デザイン(ID)入門 ～ARCS動機づけモデルの活用～	講義, ミニワーク	
		教授法, 動機づけ	4	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは?	講義, ミニワーク	
		教授法, 講義法	5	大人数講義を魅力的にするテクニック	講義, ミニワーク	
		教授法, グループ学習	6	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン	講義, ミニワーク	
		教授法, グループ学習	7	学生が動く・変わる・活き活きするグループワークの進め方	講義, ミニワーク	
		教授法, グループ学習	8	教えないで成績を上げるTBL(チーム基盤型学習)という授業方法	講義, ミニワーク	
		教授法, 教室運営, 動機付け	9	クラスルームコントロール	講義, ミニワーク	
		教授法, eラーニング	10	効果的なeラーニングの活用方法	講義, ミニワーク	
	FD・SD	学習評価	11	基礎から学ぶ学習評価法	講義, ミニワーク	
プログラム 開発	FD	思考法, (教授法)	12	マインドマップ入門講座	講義, ミニワーク	
		公開授業, 授業参観	13	マンネリ化しない公開授業の秘訣～公開授業の効果的実施方法～	講義, ミニワーク	
		授業アンケート	14	授業アンケートを見直しませんか?～アンケートの効果的実施と活用方法～	講義, ミニワーク	
高専向け	FD	ティーチング・ポートフォリオ	15	ティーチング・ポートフォリオ入門～教育実践のリフレクション～	講義, ミニワーク	
		高専, 学生指導	16	高専生を元気にする学生指導法のコツ	講義, ミニワーク	
		高専, 学生指導	17	担任教員に求められること～担任スキル開発ワーク～	講義, ミニワーク	
業務改善	SD	高専, 教育経営	18	事例から見た, 学生・保護者から信頼される高専教育	講義, ミニワーク	
		企画力, プレゼンテーション力	19	大学職員のための企画力養成講座	講義, ミニワーク	
	FD・SD	判断力・決断力, ディベート	20	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	講義, ミニワーク	
		プレゼンテーション	21	教職員のためのPowerPoint～分かりやすい話の組み立て方・資料作成・分かり易い話し方～	講義, ミニワーク	
人材育成・ 人事制度	SD	計画立案, 進捗管理	22	プロジェクト・マネジメント入門	講義, ミニワーク	
		自己理解, メンタリング, 業務整理	23	スタッフ・ポートフォリオ入門～職員と大学が共に輝くために～	講義, ミニワーク	
		SDプログラム開発	24	持続可能なSDプログラムの開発手法	講義, ミニワーク	
学生支援 に関する プログラム	FD・SD	人材育成ビジョン	25	人事人材育成ビジョンの必要性	講義, ミニワーク	
		学習ポートフォリオ	26	学習ポートフォリオ入門～学習活動のリフレクション～	講義, ミニワーク	
IR	FD・SD	学生支援	27	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	講義, ミニワーク	
		学習成果	28	教育の質保証と学習成果アセスメント	講義, ミニワーク	
事例紹介	FD	FD実践事例	29	学生が輝くFDの実践事例	講義	
	SD	SD実践事例	30	職員が輝くSDの実践事例	講義	
	FD・SD	コンサルティング	31	SPOD課題発見コンサルティング FD・SDを効果的に進める組織づくり～事例紹介とお悩み相談～※1	相談の上, 決定	

※1 加盟校へ訪問してのFD・SDの現状と課題に関する情報交換, 成功事例の紹介等, 加盟校の実態に合わせて内容, 形態とも柔軟に対応します。

「研修プログラムガイド2015」の作成について

（趣旨）

SPOD加盟校において実施するFD／SDプログラムの中で、SPOD加盟校に開放可能なプログラムについては、予め内容及びスケジュールを示すことにより、加盟校の教職員が参加しやすいようにする。また、各加盟校で実施しているプログラムを参考にすることができるようにする。

（対象プログラム）

全SPOD加盟校の①～⑤のプログラム

①FD（教員対象）、②FD／SD（教職員対象）、③FDer養成（ファカルティ・デベロッパー対象）、④プレFD（大学院生対象）、⑤SD（職員対象）、⑥総合

（全体構成）

- 「研修プログラムガイド2015」発刊にあたって
- 利用の手引き
- SPODの概要説明
- プログラム一覧（日程別、開催大学別、テーマ別）
- ~~○ SPOD加盟校内講師派遣プログラム一覧~~
- プログラム紹介
- 学内向け研修一覧（学外非公開分）
- 申込み・お問い合わせ
- SPODホームページについて

（原稿作成）

別紙「研修プログラムガイド原稿作成要領」のとおり。

（発行時期等）

発行時期：平成27年4月下旬

発行部数：A4サイズ 7,300部（SPOD加盟校 教員 4,626＋職員 2,299＋予備 375部）

※教職員数は平成27年度負担金積算根拠数による

※平成26年度の発行部数は7,300部

（作成スケジュール）

平成27年2月 6日（金）	掲載プログラムの確定	（昨年度：平成26年2月8日）
	プログラム名、FD/SD等の区分、遠隔配信の有無	
平成27年2月27日（金）	各コア校への原稿締め切り	（昨年度：平成26年2月28日）
平成27年3月 5日（木）	編集責任校への原稿締め切り	（昨年度：平成26年3月6日）
平成27年3月下旬	印刷業者原稿渡し	（昨年度：平成26年3月31日）
平成27年4月下旬	印刷業者納品、各大学へ配付	（昨年度：平成26年5月8日）

(別紙)

研修プログラムガイド 原稿作成要領

SPOD FD/SDガイドブックに掲載する「加盟校に開放するプログラム」について、「研修プログラムガイド2014」の記載内容を参考にしながら、下記の作成要領に従い、「内容紹介」の原稿作成をお願いします。レイアウト等については、フォーマットに落とし込んだ上で調整しますので、文章等について word 等で作成してご提出ください。

原稿作成〆切：平成27年2月27日（金）

原稿提出先：各コア校

編集責任校：愛媛大学（担当：教育・学生支援機構 教育企画室、SPOD事務局）

※作成にあたっては、各コア校と連携・協力して行う。

【1回2～3時間程度のセッションの場合】…半ページ

- ① 主な対象者 … 40字以内。「記載にあたっての留意事項」をご覧ください。
- ② 対象校（地域別，設置形態別） … 「記載にあたっての留意事項」をご覧ください。
- ③ 目標 … 50～70字程度
- ④ 講師氏名・所属大学・所属部署名 … （例）〇山〇夫（△△大学〇〇）
- ⑤ 日時・場所 … 具体的な教室名（建物名，階も）
- ⑥ 主催 … （例）愛媛大学教育企画室
- ⑦ 〆切 … （例）要問い合わせ，開催日〇週間前・先着順 等
- ⑧ 申込み先・問い合わせ先 … 「記載にあたっての留意事項」をご覧ください。
- ⑨ 目標 … 50～70字程度
- ⑩ 内容 … 箇条書きで合計400～480字程度。
「記載にあたっての留意事項」をご覧ください
- ⑪ 参考となる写真，ポンチ絵（スライド）があれば1枚お送りください。
- ⑫ 参考資料 … 参考となる書籍の名称等
- ⑬ 準備物について
- ⑭ 受講者の声（アンケートからなど）

【合宿セミナー等】…1ページ

- ① 主な対象者 … 40字以内。「記載にあたっての留意事項」をご覧ください。
- ② 対象校（地域別，設置形態別） … 「記載にあたっての留意事項」をご覧ください。
- ③ 目標 … 250字程度
- ④ 講師氏名・所属大学・所属部署名 … （例）〇山〇夫（△△大学〇〇）
- ⑤ 日時・場所 … 具体的な教室名（建物名，階も）
- ⑥ 主催 … （例）愛媛大学教育企画室
- ⑦ 〆切 … （例）要問い合わせ，開催日〇週間前・先着順 等
- ⑧ 申込み先・問い合わせ先…「記載にあたっての留意事項」をご覧ください。
- ⑨ 目標 … 50～70字程度
- ⑩ 内容 … 箇条書きで合計1000字程度。
「記載にあたっての留意事項」をご覧ください
- ⑪ 参考となる写真，ポンチ絵（スライド）があれば1枚お送りください。
- ⑫ 参考資料 … 参考となる書籍の名称等
- ⑬ 準備物について
- ⑭ 受講者の声（アンケートからなど）

(記載にあたっての留意事項)

■主な対象者（項目①欄）

対象者は、ニーズとのミスマッチを防ぐために、教員、職員、大学院生などの職種やニーズを明確に表現してください。複数を対象としても構いません。

例1) 授業でのグループディスカッションやゼミでのディスカッションをより活性化させたい教員

例2) FDを担当する教職員

例3) 新任教員(但し、授業担当経験5年以上を除く)、参加を希望する教員、

例4) 全教員、とりわけ講義を持つようになって間もない教員

例5) 職員(課長補佐以上)

また、記載方法については、以下の点にご留意ください。

・記載を統一する。

「事務職員、大学職員等」→「職員」。

「新規に採用された教員、初任者教員等」→「新任教員」

・対象校を表す言葉（〇〇大学、SPOD加盟校等）を使用しない。

「・・・であるSPOD加盟校の職員」→「・・・である職員」

「・・・以上の愛媛大学教職員」→「・・・以上の教職員」

・役職を統一する（大学独自の役職名ではなく、一般的な役職名にする）。

「グループリーダー」、「副課長」、「チームリーダー」等は使用せず、「課長」「課長補佐」、

「係長」、「主任」、「係員」とする。

■対象校（地域別、設置形態別）（項目②欄）

できる限りSPOD全加盟校に開放してください。記載方法は、以下例示のように記載してください。

(例)

・SPODの全加盟校に開放・・・SPOD全加盟校

・愛媛県内加盟校のみ開放・・・SPOD加盟校（愛媛県内のみ）

・短期大学のみ開放・・・SPOD加盟校（短期大学のみ）

・愛媛県内の私立大学のみ開放・・・SPOD加盟校（愛媛県内の私立大学のみ）

■申込み先・問い合わせ先（項目⑧欄）

各プログラムの担当部署について、以下の項目を必ず記載ください。

・部署名

・担当者名

・住所

・電話番号、FAX番号

・メールアドレス

■内容（項目⑩欄）

対象プログラムがどのようなことを行うか分かるように詳しく記載してください。例えば、章毎のタイトルなどを明示するとわかりやすくなります。（「研修プログラムガイド2014」参照）

平成27年度SPODに開放するプログラム(研修プログラムガイド2015掲載)一覧

所属機関名					備考
研修名	日程	区分 (選択式)	遠隔配信 (選択式)		
1					
2					
3					
4					
5					

(留意事項)

1. 本一覧表は、次の2つの目的で利用しますので、**平成27年2月6日(金)**までに所属する県のコア校及び愛媛大学教育企画課 (spod@stu.ehime-u.ac.jp) に提出してください。
(1) 各コア校が、平成27年2月27日(金) 締切の原稿をチェックするために必要な作業量の目安を把握するため。
(2) 「研修プログラムガイド2015」のページ数の目安を把握し、印刷期間、金額等をあらかじめ、業者と検討するため。
2. 本一覧表を提出する時点で、実施の可否が未定の場合は、その旨を記載した上で一覧表に掲載(記載例参照)し、原稿提出期限(平成27年2月27日(金))までに最終結果を所属する県のコア校へ連絡してください
3. 区分欄は「FD, FD/SD, Fder, プレFD, SD, 総合」のうち、一つを選択してください。
4. 遠隔配信欄は、遠隔講義システムを持っている加盟校に対して遠隔配信が可能な場合は「○」を選択してください (必ず、研修等講師に遠隔配信の有無について確認してください)。
5. **SPOD内講師派遣プログラムについては、記載不要です。**
6. 適宜枠を増やしてご利用ください。

(記載例)

研修名	日程	区分 (選択式)	遠隔実施 (選択式)	備考
わかりやすいシラバスの書き方	9月11日(金)	FD	○	
様々な評価方法	9月11日(金)	FD	×	現在、実施の可否検討中 (2月末の原稿提出時に回答)
グループ学習のコツ	未定	FD	未定	実施はするが、日程及び遠隔配信については現在 在検討中(2月末の原稿提出時に回答)

平成27年度学内向け研修プログラム一覧

所属機関名			
研修名	対象者	開催時期	目的・内容

(留意事項)

1. 本一覧は、各加盟校で実施されている研修・研究会のプログラムを他の加盟校が参考にするために「研修プログラムガイド2015」に掲載しますので、
平成27年2月27日(金)までに所属する県のコア校に提出してください。
2. SPOD内講師派遣プログラムについては、記載不要です。
3. 平成27年度に各大学等において、学内向けに行うFD／SD／TAD研修・研究会等を記載例及び「研修プログラムガイド2014」のP76～81を参考に記入してください。
※開催時期について、未定の場合は「〇月中旬」，「未定」等で構いません。
※適宜枠を増やしてご利用ください。

(記載例)

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修	新規採用者(教職員)	4月7日(木)～8日(金)	新たに採用になった教職員に対し、本学職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。

「研修プログラムガイド2015」チェックリスト(記載例)

①プログラム名【わかりやすいシラバスの書き方】(愛媛大学)

②対象 (以下より、あてはまる選択肢をひとつお選びください。)

【☒FD ☐FD/SD ☐FDer ☐プレFD ☐SD ☐総合】

③カテゴリ分類 (以下より、適当なカテゴリをひとつお選びください。ただし、編集の都合上、変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。)

【☒授業の基本 ☐参加型授業 ☐ICT ☐多様な学生への支援 ☐高専プログラム ☐総合プログラム ☐プレFD ☐ポートフォリオ ☐マネジメント ☐学習スキル ☐職場における多様性と健康 ☐ビジネススキル ☐リーダーシップ・組織開発 ☐その他】 * 各カテゴリについては「研修プログラムガイド2014」をご参照ください。④遠隔配信 【☒有 ☐無】

⑤FD レベルマップ(該当する枠中に○印をご記入ください。複数可)

フェーズ \ レベル	ミクロ 個々の教員 授業・教授法	ミドル 教務委員 カリキュラム・プログラム	マクロ 管理者 組織の教育環境・教育制度
I 導入(気づく・わかる)	○		
II 基本(実践できる)	○		
III 応用(開発・報告)			
IV 支援(教えられる)			

※SD レベルマップは、愛媛大学の SD 担当で作成しますので、チェック不要です。

⑥原稿内容(以下の項目について、明記されておりましたら、チェック欄に○印をご記入ください)

NO.	項目	確認事項	チェック欄
1	主な対象者	40字以内で明記されている ・語句の統一(教職員、職員、新任教員に統一)がされている ・役職の統一(課長、課長補佐、係長、主任、係員に統一)がされている	○
2	対象校	対象校について明記されている ・SPOD 全加盟校か SPOD 加盟校(○○県内のみ、短期大学のみ等)と明記されている	○
3	目標	目標が50～70字程度で明記されている	○
4	講師氏名等	講師氏名・所属大学・所属部署名が明記されている	○
5	日時・場所	日時・場所について明記されている。場所については具体的な教室名(建物、階数)が明記されている	○
6	主催	主催について明記されている	○
7	※切	※切について明記されている	○
8	申込み先・問い合わせ先	申込先・問い合わせ先が明記されている	○
9	目標	目標が50～70字程度で明記されている	○
10	内容	準備物について明記されている	○
11	参考となる写真、ポンチ絵	参考となる写真、ポンチ絵(スライド)等を添付している	○
12	参考資料	参考となる書籍の名称等が明記されている	○
13	準備物について	準備物について明記されている	○
14	受講者の声	受講生の声について明記されている	○

SPODにおけるスタッフ・ディベロップメント・コーディネーター（SPOD－SDC）の認定について（案）

1. 認定対象者

愛媛大学 総合情報メディアセンター教育デザイン室長

兼務 教育・学生支援機構教育企画室 講師 仲道 雅輝

2. 認定理由

仲道氏は、平成26年3月、教職員能力開発拠点（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）より、スタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの認定を受け、以下のとおり学内及びSPODのSD講師を務めている。

- ・次世代リーダー養成ゼミナール
 - 「受講生のプレゼンテーション評価・講評」（平成23～26年度）
 - 「IDを活用した職員による企画立案マネジメント」（平成23～25年度）
- ・SPODフォーラム
 - 「若手・中堅職員のためのコーディネート力養成講座」（平成24～26年度）
 - 「後輩ができた若手・中堅職員のための観察力養成講座」（平成24～25年度）
 - 「若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座」（平成24～25年度度）
 - 「インストラクショナルデザイン（ID/教育設計）を活用した職員による企画・立案マネジメント」（平成25～26年度）
- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ）
 - 「プロジェクト・イノベーション実践」（平成25年度）
- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅢ）
 - 「大学政策論」「人材育成論・実践論」（平成26年度）
- ・SDコーディネーター養成講座 in 九州（平成26年度）
 - 「スタッフ・ポートフォリオに基づいた自己紹介プレゼンテーション」
 - 「企画実現の方策を導き出す課題分析の方法と活用」
 - 「人材育成ビジョン作成ワークショップ」他

また、上記プログラム中「若手・中堅職員のためのコーディネート力養成講座」「後輩ができた若手・中堅職員のための観察力養成講座」等は、同人がプログラム開発を行った上で実施したものである。

また、次世代リーダー養成ゼミナールでは、平成25年度受講生2名、平成26年度3名の指導教員として、キャリア支援を含むメンタリング及び修了論文の指導を行った。

以上のとおり、同人はSPODにおけるSDCの名称付与基準を満たしているため、SPOD－SDCとして認定するものである。

3. SPOD－SDC認定の参考資料

ティーチング・ポートフォリオ

- 高等教育機関における職員人材育成ビジョンを構築・支援するためのワークショップの講師の経験を有している。 ※最低1件

No	日時	研修名（場所）
1	2011年10月	「FDファシリテーター養成講座」(愛媛)
2	2011年11月	「ファカルティ・ディベロッパー養成研修」(東京)
3	2011年11月	「ポートフォリオ作成ワークショップ」(愛媛)
4	2012年1月, 2013年1月	「IDを活用した職員による企画立案マネジメント」(高知, 徳島/計2回) ※次世代リーダー養成研修
5	2012年8月, 2013年8月,	「若手・中堅職員のためのコーディネート力養成講座」(徳島, 愛媛/計2回)
6	2012年8月, 2013年8月,	「若手・中堅職員のための決断力・判断力」(徳島, 愛媛2回, /計3回)
7	2012年8月, 2013年8月,	「後輩ができた若手・中堅職員のための観察力養成講座」(徳島, 愛媛/計2回)
8	2012年11月	「大学職員のための業務改善・企画力養成講座」(宮城)
9	2013年8月,	「インストラクショナル・デザイン(ID/教育設計)を活用した職員による企画立案マネジメント」(愛媛)
10	2013年9月	「プロジェクト・イノベーション実践」(愛媛)
11	2013年9月	「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」(愛媛)
12	2013年10月	「FD・SDファシリテーター養成研修 in 京都」(京都)

- 自らポートフォリオを作成し、スタッフ・ポートフォリオを作成する職員に対するメンター経験を有している。

メンター経験の詳細（実施時期、人数など） （ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ受講およびTP作成・更新） ・2011年11月, 2013年11月更新, （メンター経験） ・2012年5月：次世代リーダー養成研修 1名 ・2013年5月・10月：次世代リーダー養成ゼミ 1名 ・2013年9月：TP作成ワークショップ 教員2名

- 資格の認定を受けようとする者が所属する機関以外において主催される研修会の講師の経験を原則、7回以上有している。 ※最低7件

	日時	研修名（場所）
1	2007年9月	「eラーニング専門家スタッフが支える大学教育のイノベーション」, 次世代大学教育研究会, (東京)
2	2008年11月	「職員による教育支援の企画・立案マネジメントへの取組」, 私立大学情報教育協会大学職員情報化研究講習会, 初任者向け研修, (静岡)
3	2009年11月	「職員による教育支援の企画・立案マネジメントへの取組」, 私立大学情報教

		育協会大学職員情報化研究講習会，初任者向け研修，（静岡）
4	2010 年 11 月	「職員による教育支援の企画・立案マネジメントへの取組」，私立大学情報教育協会大学職員情報化研究講習会，中堅職員向け研修，（静岡）
5	2011 年 10 月	「リーダー養成セミナー」，愛媛県男女共同参画センター，（愛媛）
6	2011 年 11 月	「ポートフォリオ作成ワークショップ」，（愛媛）
7	2011 年 11 月	「リーダーの条件－判断力・決断力」，愛媛県男女共同参画センター，（愛媛）
8	2011 年 12 月	「リーダーに必要となる環境構築法」，愛媛県男女共同参画センター，（愛媛）
9	2012 年 1 月	「ピア・サポート研修会－組織とメンバーの双方にハッピーにつながるためのメンタリング」，京都外国語大学，（京都）
10	2012 年 2 月	「組織を上手く動かすには～リーダーができること～／愛媛大学 ELS ワークショップ」，京都文京大学，（京都）
11	2012 年 2 月	「愛媛大学リーダーズ・スクール(ELS)による学生リーダー養成のコツ／FD 研修会」，愛知学院大学薬学部，（愛知）
12	2012 年 3 月	「教える仕事に就きたい大学院生のための授業デザインワークショップ」，鹿屋体育大学，（鹿児島）
13	2012 年 7 月	「学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法」，東京理科大学第7回 FD セミナー，（東京）
14	2012 年 9 月	「リーダーの必須スキルⅠ－ルフィーの仲間力より－」，愛媛県男女共同参画センター，（愛媛）
15	2012 年 10 月	「リーダーの必須スキルⅡ－ルフィーの仲間力より－」，愛媛県男女共同参画センター，（愛媛）
16	2012 年 11 月	「大学職員のための業務改善・企画力養成講座」，東北大学，（宮城）
17	2012 年 11 月	「学生を元気にする学生支援」，福島大学，（福島）
18	2012 年 11 月	「自分を育てる－白熱教室Ⅰ（失敗した時ピンチの時の気持ちの持ち方，リーダーのメンタルケアアップに向けて）」，愛媛県男女共同参画センター（愛媛）
19	2012 年 12 月	「仲間を育てる－白熱教室Ⅱ（なぜ部下や仲間が育たないのか，リーダーの育成力アップに向けて）」，愛媛県男女共同参画センター（愛媛）
20	2013 年 2 月	「学生リーダー養成セミナー」，松山大学（愛媛）
21	2013 年 9 月	「若手・中堅職員のための決断力・判断力養成講座」，聖カタリナ大学，（愛媛）
20	2013 年 10 月	「ルーブリック作成法」，北星学園大学，（北海道）
21	2013 年 11 月	「学習者の学習意欲を高めるためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門～ARCS 動機付けモデルの活用～」，徳島大学，（徳島）
22	2014 年 2 月	「学生リーダーズ研修会」，松山大学，（愛媛）
23	2014 年 2 月	「学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法」，創価大学 FD セミナー，（東京）

SPODにおけるスタッフ・ディベロップメント・コーディネーター（SPOD-SDC）の認定について（案）

1. 認定対象者

愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 助教 清水栄子

2. 認定理由

清水氏は、平成26年3月、教職員能力開発拠点（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）より、スタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの認定を受け、以下のとおり学内及びSPODのSD講師を務めている。

- ・ SPODフォーラム2013（平成25年度）
「スタッフ・ポートフォリオ作成ミニワークショップ」
「職員向けマネジメントセミナー
ーもしあなたの大学にドラッカーがいたらー」
- ・ SPOD講師派遣事業／高知県立大学（平成25年度）
「スタッフ・ポートフォリオ入門ー職員と大学が共に輝くためにー」
- ・ SDコーディネーター養成講座／コンソーシアム京都（平成25年度）
「スタッフ・ポートフォリオに基づいた自己紹介プレゼンテーション」
- ・ SDC養成講座フォローアップセミナー「講師養成講座」（平成25年度）
- ・ 次世代リーダー養成ゼミナール「メンター入門」（平成26年度）
- ・ 次世代リーダー養成ゼミナール
「受講生のプレゼンテーション評価・講評」（平成25～26年度） 他

同人は、次世代リーダー養成ゼミナールにおいて、平成25年度より受講者2名、平成26年度2名の指導教員としてキャリア支援を含むメンタリング及び修了論文の指導を行った。また、ティーチング・ポートフォリオ及びアカデミック・ポートフォリオのメンターとして、教員へのメンタリング経験も豊富である。

さらに、SPOD「国際連携系職員養成プログラム開発ワークショップ」に講師として携わり、その後、「カリキュラムマップ作成ワーキンググループ」のメンバーとして、プログラム開発に携わった。

以上のとおり、同人はSPODにおけるSDCの名称付与基準を満たしているため、SPOD-SDCとして認定するものである。

3. SPOD-SDC認定の参考資料

アカデミック・ポートフォリオ

- 高等教育機関における職員人材育成ビジョンを構築・支援するためのワークショップの講師の経験を有している。 ※最低1件

日時	研修名（場所）
2013年8月21日	SPOD フォーラム「スタッフ・ポートフォリオ作成ミニワークショップ」（愛媛大学）
2014年2月8日・9日	SDC 養成講座フォローアップセミナー（大阪）「講師養成実践」講師（追手門学院大学）

- 自らポートフォリオを作成し、スタッフ・ポートフォリオを作成する職員に対するメンター経験を有している。

メンター経験の詳細（実施時期、人数など）
TP 作成 WS にて技術職員へのメンタリング（2011年3月 阿南高専・1名）
「スタッフ・ポートフォリオ作成ミニワークショップ」（2013年8月）
【その他のポートフォリオ作成メンター経験】
TP 作成 WS （2011年9月・2012年3月・9月・12月・2013年9月・12月・10名）
AP 作成 WS （2013年8月 1名）

- 資格の認定を受けようとする者が所属する機関以外において主催される研修会の講師の経験を原則、7回以上有している。 ※最低7件

日時	研修名（場所）
2013年2月7日	2012年度秋期FD・SD研修プログラム講師（大阪樟蔭女子大学）
2013年8月20日	SPOD フォーラム SD プログラム「スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ」（愛媛大学）
2013年8月22日	SPOD フォーラム SD プログラム「もしあなたの大学にドラッカーがいたら」（愛媛大学）
2013年9月5日	「スタッフ・ポートフォリオ入門ー職員と大学が共に輝くためにー」（高知県立大学）
2013年10月5日・6日	ファカルティ・デベロッパー養成講座「ミドル・レベルのFD/IRの基礎とカリキュラム評価」（コンソーシアム京都）
2013年10月4日	SD コーディネーター養成講座「スタッフ・ポートフォリオに基づいた自己紹介プレゼンテーション」（コンソーシアム京都）
2013年11月14日	次世代リーダー養成ゼミナール（香川大学）
2014年1月23・24日	次世代リーダー養成ゼミナール（徳島大学）
2014年2月	SDC 養成講座フォローアップセミナー「講師養成講座」（追手門学院大学）

SPODにおけるスタッフ・ディベロップメント・コーディネーター（SPOD-SDC）の認定について（案）

1. 認定対象者

愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 特任助教 丸山智子

2. 認定理由

丸山氏は、平成26年年3月、教職員能力開発拠点（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）より、スタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの認定を受け、学内及びSPODのSD担当者として活動している。

同人は、愛媛大学採用前は、民間企業においてプロジェクトマネジメント及びリーダーシップの研修講師を務めていた。その活動を大学にも広げ、芝浦工業大学において「理工学部研究科大学院生向けリーダーシップ授業」などのカリキュラム開発にも携わった。

愛媛大学採用後は、以下のSDプログラム講師を務めている。

- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ）
「プロジェクト・イノベーション実践」（平成25年度）
- ・SPODフォーラム2014「プロジェクトマネジメント」（平成26年度）
- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）
「リーダーシップ入門」（平成26年度）
- ・次世代リーダー養成ゼミナール
「プロジェクトマネジメント」（平成25、26年度）
「受講生のプレゼンテーション評価・講評」（平成25、26年度）
- ・SDコーディネーター養成講座 in 九州（平成26年度）
「スタッフ・ポートフォリオに基づいた自己紹介プレゼンテーション」
「業務改善・企画力養成講座」
「人材育成ビジョン作成ワークショップ」他

また、次世代リーダー養成ゼミナールでは、平成26年度受講者2名の指導教員としてキャリア支援を含むメンタリング及び修了論文の指導を行った。

さらに、SPOD「国際連携系職員養成プログラム開発ワークショップ」に講師として携わり、その後、「カリキュラムマップ作成ワーキンググループ」のメンバーとしてプログラム開発に携わった。

以上のとおり、同人はSPODにおけるSDCの名称付与基準を満たしているため、SPOD-SDCとして認定するものである。

3. SPOD-SDC認定の参考資料

スタッフ・ポートフォリオ

- 高等教育機関における職員人材育成ビジョンを構築・支援するためのワークショップの講師の経験を有している。 ※最低1件

日時	研修名（場所）
2013/9/26-27	SPOD プログラム プロジェクト・イノベーション実践（愛媛大学）
2014/1/23-24	SPOD プログラム プロジェクトマネジメント（次世代養成ゼミ・徳島大学）

- 自らポートフォリオを作成し、スタッフ・ポートフォリオを作成する職員に対するメンター経験を有している。

1) SDC 養成講座におけるメンタリング実践 講師陣として、各受講生の SP を読み、メンタリング時における助言。
2) SDC フォローアップセミナーにおける人材育成ビジョン作成 WS における「求められる職員像」作成 受講生が作成する「職員像」について、メンターとして助言。
3) 佐々木さん（SDC 受講生→大雪のため講座欠席）のメンター WEB 上で講義用資料コンテンツや講師としての素養などメンタリングを実施。

- 資格の認定を受けようとする者が所属する機関以外において主催される研修会の講師の経験を原則、7回以上有している。 ※最低7件

日時	研修名（場所）
2013/12/12	プロジェクトマネジメントにおけるリーダーシップ教育 （芝浦工業大学システム理工学部）
2009/10/1-2	プロジェクトリーダー向け人間力強化を図るリーダーシップ研修 （独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 JAXA）
2011/3/10-11	プロジェクトマネジメント研修 （株式会社日立製作所）
2011/5/23-24	プロジェクトマネジャー向けプロジェクト応用研修 （株式会社富士通）
2010/12/16	仕事の生産性を向上させるためのチーム・マネジメント講座 （パナソニック株式会社）
2010/3/3	次世代リーダー向けリーダーシップ講座 （株式会社日立メディコ）
2010/6/23-26	プロジェクト管理能力向上研修 （株式会社神鋼エンジニアリング&メンテナンス）

SPODにおけるスタッフ・ディベロップメント・コーディネーター（SPOD－SDC）の認定について（案）

1. 認定対象者

愛媛大学 総務部人事課長 秋谷 恵子

2. 認定理由

秋谷氏は、SPOD講師養成研修（総論：H22.5，各論「コミュニケーション入門」：H23.3）を受講し，以下のSDプログラム講師を務めた。

- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ）
「メンター入門」（平成 23 年度）
- ・SPOD講師派遣事業／四国大学（平成 23 年度）
「SDプログラム開発手法」
- ・SPODフォーラム2012（平成 24 年度）
「部下を活かすためのコーチング講座 ー助言・指導・評価のコツー」
「職場内におけるメンタリングのコツ」
- ・SDコーディネーター養成講座 in 九州（平成 26 年度）
「スタッフ・ポートフォリオに基づいた自己紹介プレゼンテーション」
「スタッフ・ポートフォリオについて」
「人材育成ビジョン作成ワークショップ」

また，以下のとおり学会発表も行っており，SD事業に関する知見を積極的に外部に発信している。

- ・第17回大学研究教育フォーラム／京都大学（平成 23 年度）
「新たなSD論の展開に向けて」
- ・2012年度大学行政管理学会／芝浦工業大学（平成 24 年度）
「地域型教職員能力開発ネットワークの有効性」

同人は，平成22～24年度は総務部人事課副課長として，SPOD－SD事業に関わりSDプログラムの企画立案を行ったほか，学内では職員人事・人材育成ビジョンの見直しに携わった。その後，総務部ハラスメント防止対策室長を経て，平成26年4月から総務部人事課長として，再びSD事業を支援している。

以上のとおり，同人はSPODにおけるSDCの名称付与基準を満たしているため，SPOD－SDCとして認定するものである。

3. SPOD－SDC認定の参考資料

スタッフ・ポートフォリオ

参考

- 高等教育機関における職員人材育成ビジョンを構築・支援するためのワークショップの講師の経験を有している。 ※最低 1 件

日時	研修名（場所）
2011/9/29	SPOD プログラム 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ）メンター入門（愛媛大学）
2014/11/25	SD コーディネーター養成講座 in 九州 人材育成ビジョン作成ワークショップ（K P カンファレンスシティ博多）

- 自らポートフォリオを作成し、スタッフ・ポートフォリオを作成する職員に対するメンター経験を有している。

メンター経験の詳細（実施時期、人数など）
・ スタッフ・ポートフォリオ作成メンター経験 2013 年 愛媛大学職員 1 名 2014 年 愛媛大学職員 3 名 ・ 2014. 11. 24 SD コーディネーター養成講座 in 九州 「メンタリング実践」での助言

- 資格の認定を受けようとする者が所属する機関以外において主催される研修会の講師の経験を原則、7 回以上有している。 ※最低 7 件

日時	研修名（場所）
2011/3/18	第 17 回大学研究教育フォーラム 「新たなSD論の展開に向けて～理論と実践の狭間で～」（京都大学）
2011/9/12	SPOD 講師派遣事業 「SD プログラム開発手法」（四国大学）
2011/9/29	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ） 「メンター入門」（SPOD プログラム）
2012/8/22	SPOD フォーラム 2012 「部課を活かすためのコーチング講座」
2012/8/24	SPOD フォーラム 2012 「職場内におけるメンタリングのコツ」
2012/9/9	2012 年大学行政管理学会 「地域型教職員能力開発ネットワークの有効性」（芝浦工業大学）
2014/10/24-25	SD コーディネーター養成講座 in 九州（TKP カンファレンスシティ博多）

四国地区大学教職員能力開発ネットワークにおける
スタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの資格認定に関する申合せ

平成 26 年 11 月 19 日
ネットワークコア運営協議会

(趣旨)

第 1 条 この申合せは、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（以下「SPOD」という。）において、職員の能力開発（以下「SD」という。）に関する知識・技術を修得し、自大学及びSPOD加盟校におけるSDの実践的指導者として適切な能力を有すると認められる者の資格認定に関し、必要な事項を定めるものとする。

(資格の名称)

第 2 条 資格の名称は、「SPOD—スタッフ・ディベロップメント・コーディネーター (Staff Development Coordinator)」(以下「SPOD—SDC」という。)とする。

(資格の認定)

第 3 条 SPOD—SDCの資格の認定は、別紙に定める認定基準を満たし、かつ、SPOD加盟校人事課長又はSD担当課長相当が別紙様式 1 により推薦する自大学の教職員に対して、SPODが別紙様式 2 の資格認定証書を授与することによって行う。

2 前項の資格認定証書は、SD専門部会において研修プログラム受講歴及び研修講師歴等を踏まえ審査し、SPODネットワークコア運営協議会が承認した者に授与する。

(資格の有効期間)

第 4 条 SPOD—SDC資格の有効期間は、認定日から、SPOD事業の運営終了日までとする。

(資格認定・授与原簿)

第 5 条 SPOD—SDC資格を認定して資格認定証書を授与したとき、及び第 7 条に規定する資格の取消しを行ったときは、別紙様式 3 のSPOD—SDC認定・授与原簿に所定の事項を記入するものとする。

(資格認定証書の再交付)

第 6 条 資格認定証書を破損又は紛失したときは、再交付を受けることができるものとする。

(資格の取消し)

第 7 条 SPOD—SDC資格を認定された者が、刑事罰又は行政罰等を受けたときは、当該資格を取り消すことができるものとする。

(事務)

第 8 条 SPOD—SDC資格認定に関する事務は、SPOD事務局において処理する。

(雑則)

第 9 条 この申合せに定めるもののほか、SPOD—SDCの認定に関し必要な事項は、SPODネットワークコア運営協議会が別に定める。

附 則

1 この申合せは、平成 26 年 11 月 19 日から施行する。

2 この申合せの施行の際、現に認定されている者については、第 3 条に規定する資格認定証書を授与する。

別紙

SPOD－スタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの資格認定基準

SPOD－スタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの資格認定基準は、次のとおりとする。

1. SPOD－SD（又は自大学におけるSD）講師を務めることができる。
2. 職員のキャリアプランニングをサポートすることができる。
3. 大学等における職員人材育成ビジョンの構築方法について説明することができる。
4. 大学等におけるSDプログラムの企画・立案ができる。
5. スタッフ・ポートフォリオを作成しており、その有益性を説明することができる。
~~ただし、すでに教員職に就いており、スタッフ・ポートフォリオの作成が難しい場合は、ティーチング・ポートフォリオ、アカデミック・ポートフォリオに置き換えることができるものとする。~~

平成 年 月 日

SPOD－SDC認定推薦書

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク会長 殿

(所属・職名)

(氏名)

印

以下の者については、他者の模範となり得る人物であり、下記のSPOD－SDC資格認定基準を満たしますので、スタッフ・ポートフォリオ^{*1}を添え、SPOD－SDCに推薦いたします。

(大学名・職名)

(氏名)

記

1. SPOD－SD（又は自大学におけるSD）講師を務めることができる。
2. 職員のキャリアプランニングをサポートすることができる。
3. 大学等における職員人材育成ビジョンの構築方法について説明することができる。
4. 大学等におけるSDプログラムの企画・立案ができる。
5. スタッフ・ポートフォリオを作成しており、その有益性を説明することができる。

(裏面に活動実績)

^{*1} ただし、すでに教員職に就いており、スタッフ・ポートフォリオの作成が難しい場合は、ティーチング・ポートフォリオ、アカデミック・ポートフォリオに置き換えることができるものとする。

以下は、SPOD-SDC資格認定基準に関わる活動実績

1. SD講師実績（日時／研修名／場所）※SPOD外での講師経験も可

- 例）・平成24年4月10日／新任教職員研修「ビジネスマナー」／〇〇大学（自大学研修）
- ・平成25年5月15日／大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）【新任職員研修】「コミュニケーション入門」／〇〇大学（SPOD内研修）
 - ・平成26年10月24日／SDコーディネーター養成講座 in 九州／〇〇会場（SPOD外研修）

2. 職員のキャリアプランニングサポート実績

- 例）・平成23年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ）「メンター入門」（SDコーディネーター養成講座「メンタリング実践」等）を修了しているほか、定期的に職場内で部下とミーティングを行い、キャリアプランのサポートを行っている。

3. 大学等における職員人材育成ビジョンに関わった実績

- 例）・平成25年度教職員能力開発拠点（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）主催、追手門学院大学で開催された「SDC養成講座」フォローアップセミナーにおいて「人材育成ビジョン作成ワークショップ」を修了している。
- ・平成25年度SPOD主催愛媛大学で開催された「職員のための講師養成講座（総論・マイクロテッチング）」を修了している。
 - ・人事担当として、学内の人材育成ビジョン作成に携わった経験がある。

4. 大学等におけるSDプログラムの企画・立案の実績

- 例）・平成25年度SPOD主催愛媛大学で開催された「国際連携職員養成プログラム開発ワークショップ」に参加。
- ・平成25年度、自大学新任職員研修を企画・立案し、講師を務めた。
 - ・平成26年度SPOD主催愛媛大学で開催された「職員のための講師養成講座（総論・マイクロテッチング）」を修了している。

5. スタッフ・ポートフォリオに関する実績

※1～4で総合的に基準を満たすと判断した。

第 号

資 格 認 定 証 書

氏 名

生年月日

上記の者は四国地区大学教職員能力開発ネットワークの所定の
基準を満たしたのでSPODースタッフ・ディベロップ
メント・コーディネーターの資格を認定する

平成 年 月 日

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク 会長

愛媛大学長 柳 澤 康 信

別紙様式3

SPOD－SDC認定・授与原簿

番号	年 月 日	所属 / 職名	氏 名	生年月日	備 考

(注) 資格の取消しを行ったときは、備考欄に取消年月日及び取消理由等を記載すること。

研修プログラム実施状況(平成26年度)

平成26年11月1日現在

日程	プログラム名	主催大学	内容	受講者	遠隔	計	内訳人数			参加校数 ※人数ではない	
							教員	職員	その他		
4月											
4月3日(木)	学生を眠らせない講義法のコツ	愛媛大学	FD/SD	14	3	17	16	1	0	1	3
4月3日(木)	効果的なグループワークの進め方	愛媛大学	FD	18	0	18	17	1	0	2	
4月4日(金)	学生の能力を高める評価法のコツ	愛媛大学	FD	15	1	16	15	1	0	1	1
4月4日(金)	会議マネジメント	愛媛大学	FD	15	0	15	14	1	0		
4月25日(金)	クラスルームコントロール	徳島工業短期大学	FD	17	0	17	17	0	0		
5月											
5月14日(水)～16日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第1回	徳島大学	SD	75	0	75	0	75	0	9	
5月22日(木)～24日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)	愛媛大学	SD	20	0	20	0	20	0	9	
5月22日(木)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)開放講義「メンター入門」	愛媛大学	SD	18	0	18	0	18	0	4	
5月22日(木)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)開放講義「リーダーシップ論&実践Ⅰ」	愛媛大学	SD	8	0	8	0	8	0	3	
5月23日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)開放講義「教育財政管理・戦略論」	愛媛大学	SD	9	0	9	0	9	0	4	
5月23日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)開放講義「高等教育IR」	愛媛大学	SD	5	0	5	0	5	0	3	
5月23日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)開放講義「大学行政管理日米比較」	愛媛大学	SD	20	0	20	0	20	0	3	
5月24日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)開放講義「高等教育政策論」	愛媛大学	SD	27	0	27	0	27	0	4	
6月											
6月5日(木)	担任教員に求められること～担任スキル開発ワーク～	弓削商船高等専門学校	FD	22	0	22	22	0	0		
6月10日(火)	職員が輝くSDの実践事例	高知大学	SD	16	0	16	0	16	0		
6月10日(火)	事例から見た、学生・保護者から信頼される高専教育	新居浜工業高等専門学校	FD	30	0	30	30	0	0		
6月10日(火)	メンタルヘルス研修	愛媛大学	FD/SD	43	0	43	4	39	0	10	
6月12日(木)～13日(金)	職員のための講師養成講座(第1回)	愛媛大学	SD	13	0	13	0	13	0	7	
6月19日(木)	基礎から学ぶ学習評価法	松山大学・松山短期大学	FD	32	0	32	32	0	0	4	
6月26日(木)	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	徳島大学	SD	59	0	59	0	59	0	9	
6月28日(土)・29日(日)	授業設計ワークショップ	徳島大学	FD	31	0	31	31	0	0	4	
7月											
7月3日(木)～4日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ)	愛媛大学	SD	24	0	24	0	24	0	7	
7月5日(土)～6日(日)	第22回授業デザインワークショップ	愛媛大学	FD	14	0	14	14	0	0		
7月7日(月)	ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ	愛媛大学	FD	2	0	2	2	0	0	1	
7月17日(木)～19日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)	徳島大学	SD	19	0	19	0	19	0	9	
7月24日(木)～25日(金)	学務系職員養成プログラム研修(レベルⅠ)	四国大学・四国大学短期大学部	SD	39	0	39	0	39	0	9	
7月22日(火)	小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン ～考え方と進め方～	愛媛県立医療技術大学	FD	24	0	24	22	2	0		
7月29日(火)	小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン ～考え方と進め方～	高知工業高等専門学校	FD	22	0	22	22	0	0	1	

日程	プログラム名	主催大学	内容	受講者	遠隔	計	内訳人数			参加校数 ※人数ではない
							教員	職員	その他 (対面(開 催校以外)	
8月										
8月19日(火)	プロジェクト・マネジメント	愛媛大学	FD/SD	27	0	27	21	6	0	1
8月19日(火)	学習評価の基本	愛媛大学	FD	17	0	17	14	3	0	1
8月19日(火)	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	香川県立保健医療大学	FD	33	0	33	33	0	0	
8月22日(金)	ルーブリック評価入門ーブレない・速い・楽チン成績評価のススメー	愛媛大学	FD/SD	19	31	50	47	3	0	5
8月22日(金)	講義のための話し方入門	愛媛大学	FD/SD	9	33	42	35	7	0	3
9月										
9月1日(月)	クリッカーで教育・研究が変わる！	香川大学	FD/SD	6	0	6	5	1	0	
9月1日(月)～2日(火)	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	高知大学	FD	5	0	5	5	0	0	2
9月1日(月)～3日(水)	第23回授業デザインワークショップ	愛媛大学	FD	19	0	19	19	0	0	3
9月3日(水)	大学職員のための企画力養成講座	高松大学・高松短期大学	SD	23	0	23	0	23	0	
9月3日(水)	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン～考え方と進め方～	高知大学	FD	2	0	2	2	0	0	
9月4日(木)	コミュニケーションで知識を蓄えるTBLチーム基盤型学習法 ※未開講	高知大学	FD*	0	0	0	0	0	0	
9月5日(金)	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門ーARCS 動機づけモデルの活用ー	愛媛大学	FD/SD	5	0	5	4	1	0	1
9月9日(火)	英語で授業をしたい教員のためのワークショップ	愛媛大学	FD	5	0	5	4	1	0	3
9月9日(火)	マインドマップ入門講座	高知学園短期大学	FD/SD	46	0	46	37	9	0	1
9月9日(火)	大人教養法の基本(遠隔配信プログラム)	愛媛大学	FD/SD	0	9	9	7	2	0	3
9月11日(木)	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	FD	45	25	70	68	2	0	
9月11日(木)～12日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(共通科目)	愛媛大学	SD	28	0	28	0	28	0	4
9月12日(金)	判断力・決断力養成講座	香川短期大学	SD	19	0	19	2	17	0	
9月16日(火)	効果的なeラーニング活用法(超入門編)	愛媛大学	FD	8	0	8	7	1	0	1
9月16日(火)	障がい学生支援	愛媛大学	FD/SD	28	0	28	16	12	0	2
9月17日(火)	学生の学びを促すシラバスの書き方	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	FD	25	0	25	25	0	0	
9月17日(水)～18日(木)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ<西四国対象>	愛媛大学	FD	19	0	19	19	0	0	3
9月17日(水)～18日(木)	アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	FD	2	0	2	2	0	0	2
9月18日(木)	事例から見た、学生・保護者から信頼される高専教育	香川高等専門学校	FD	26	0	26	19	7	0	
9月18日(木)～19日(金)	新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	香川大学	FD	14	0	14	14	0	0	4
9月19日(金)	eラーニング入門ーMoodleソフトを活用してきめ細やかな学習支援を実現しようー	愛媛大学	FD/SD	30	0	30	27	3	0	2
9月24日(水)	教職員のためのPowerPoint～分かりやすい話の組み立て方・資料作成・分かり易い話し方～	高知工科大学	FD/SD	15	0	15	0	15	0	
9月24日(水)	パワーポイント2010基本技・便利技	愛媛大学	FD/SD	13	0	13	5	7	1	2
9月25日(木)	ティーチング・ポートフォリオ入門～教育実践のリフレクション～	今治明德短期大学	FD	16	0	16	9	7	0	1
9月25日(木)	動画教材作成法	愛媛大学	FD/SD	12	0	12	7	4	1	3
9月25日(木)	学生の自立を促す学生支援のコツ	四国大学・四国大学短期大学部	FD/SD	37	0	37	24	13	0	1
9月26日(金)	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	愛媛大学	FD	9	0	9	9	0	0	3
9月26日(金)	教えないで成績を上げるTBL(チーム基盤型学習)という授業方法	香川大学	FD	10	0	10	10	0	0	

日程	プログラム名	主催大学	内容	受講者	遠隔	計	内訳人数			参加校数 ※人数ではない
							教員	職員	その他	対面(開 催校以外)
9月26日(金)	大人数講義を魅力的にするテクニク	高知県立大学・高知短期大学高知大学	FD	39	0	39	39	0	0	
9月29日(月)	授業へのグループワークの効果的な導入	香川大学	FD	6	0	6	6	0	0	1
9月29日(月)	学生の参加を促す授業方法 ※未開講	香川大学	FD	0	0	0	0	0	0	
9月29日(月)	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	環太平洋大学短期大学部	FD	18	0	18	14	4	0	
9月30日(火)	大人数講義を魅力的にするテクニク ※未開講	香川大学	FD	0	0	0	0	0	0	
9月30日(火)	TA講習	高知大学	ブレFD	29	0	29	0	0	29	
10月										
10月9日(木)～10日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)	愛媛大学	SD	23	0	23	0	23	0	4
10月23日(木)～24日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第2回	愛媛大学	SD	57	0	57	0	57	0	9
10月29日(水)	学生の学びを促すシラバスの書き方	鳴門教育大学	FD	58	0	58	52	6	0	
10月31日(金)～11月2日(日)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ＜高専対象＞	愛媛大学	FD	7	0	7	7	0	0	2
11月										
11月6日(木)～8日(土)	次世代リーダー養成セミナー(第3回)	愛媛大学	SD							
12月2日(火)	教えないで成績を上げるTBL(チーム基盤型学習)という授業方法	阿南工業高等専門学校	FD							
12月										
12月18日(木)	アクティブラーニング入門	愛媛大学	FD/SD							
12月24日(水)	アクティブラーニング入門	愛媛大学	FD/SD							
12月25日(木)	基礎から学ぶ学習評価法	香川大学	FD							
12月25日(木)	学生の学びを促すシラバスの書き方	香川大学	FD							
12月26日(金)	大学教育カンファレンスin徳島	徳島大学	総合							
1月										
1月14日(水)	学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	愛媛大学	FD/SD							
1月21日(水)	学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方	高知大学	FD							
1月22日(木)～23日(金)	次世代リーダー養成セミナー(第4回)	香川大学	SD							
1月(予定)	職員のための講師養成講座(第2回)	愛媛大学	SD							
2月										
2月10日(火)～11日(水・祝)	ファンリテーションシカ養成道場	高知大学	ブレFD							
3月										
3月9日(月)	愛媛大学教育改革シンポジウム	愛媛大学	FD*/SD							
3月24日(火)	授業効果を高めるために授業の最初にすべきこと～質問が出る教室づくり～	高知大学	FD*							
3月25日(水)	初年次科目のためのグループワークの技法	高知大学	FD							
3月26日(木)	能動的学習支援者必須！グループワークのためのファンリテーション入門	高知大学	FD*							
3月30日(月)	TA講習	高知大学	ブレFD							
3月上旬	「プレゼンテーションの方法」の教え方	香川大学	FD							
3月上旬	「レポートの書き方」の教え方	香川大学	FD							

日程	プログラム名	主催大学	内容	受講者	遠隔	計	内訳人数			参加校数 ※人数ではない
							教員	職員	その他 (面談 備援以 外)	
3月上旬	「日本語技法」の教え方 1	香川大学	FD							
3月上旬	「日本語技法」の教え方 2	香川大学	FD							
3月上旬	協同学習の基本(入門編)	香川大学	FD							
3月上旬	「情報整理の方法」の教え方	香川大学	FD							
3月中	ティーチャング・ポートフォリオ作成ワークショップ<東四国対象>	徳島大学	FD							
合計				1,483	102	1,585	872	682	31	